

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

(千葉県)

昭和 47 年

経済企画庁総合開発局

縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料 目次

利用者のための

A. 土地条件等の概要の部

1 地形区分とその性状等の概要	1
2 表層地質の分布とその性状等の概要	4
3 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	7
4 土地利用可能性分級等の概要	11
4-1 土地利用現況の概要	11
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	13

B 統 計 の 部

1 土地利用現況	16
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳(県統計資料による)	16
1-2 D.I.Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳(県統計資料による)	20
2 自然的土地条件	21
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	21
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	23
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	24
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	28
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	32
3 土地利用可能性分級	36
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	36
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	38
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	38
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	38
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	38
3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連	38
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	39
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	41

利 用 者 の た め に

I. 編 集 方 針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての土地条件等の概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」および1-2表「DID おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」を県統計資料および関係市への照会により作成し、その他の統計は、原則としてそれぞれの統計項目に対応した縮尺20万分の1土地分類図の面積測定を行ない製表作成したものである。

II. 面積統計の作成

面積統計における市町村面積は建設省国土地理院の「全国都道府県市町村面積（昭和44年10月）」を用い市町村行政区画は昭和45年3月31日現在のものである。（ただし、君津町、鴨川市の面積は、合併以前の旧町村面積を合計したものである。）

1. 面積統計のうち、1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」および1-2表「DID 人口おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は、県統計資料等を使用して作成したが、その資料名および方法は次によつた。

土地に関する概要調書（県地方課・昭和45年）

千葉県農林水産統計年報（関東農政局千葉統計調査事務所・昭和43年～44年）

作付面積統計（昭和44年）

千葉の草地のあゆみ（県・畜産振興課・昭和45年）

林野面積統計（農林省統計調査課・昭和40年）

民有林森林資源構成表（県林務課・昭和40年）

昭和40年国勢調査わが国の人口集中地区（総理府統計局・昭和41年9月）

市街化区域別面積統計（該当市の都市計画主管課）

ア. 土地利用現況別面積の農地（田・畠）および宅地の面積は、「土地に関する概要調書」の面積を用いたが、統計項目に対応する土地利用の内訳は次により算定した。

田：「千葉県農林水産統計年報」によつた。

畠：牧草畠および樹園地は、「千葉県農林水産統計年報」および「作付面積統計」を用いた。普通畠は、畠面積から、牧草畠および樹園地を差し引いたものである。

草地：利用草地のうちの永年草地は、「土地に関する概要調書」の牧場、「林野面積統計」の森林でない原野のうちの放牧採草に利用している土地、および造成草地（「千葉の草地のあゆみ」）の計である。

自然草地は、現存すると思われるが統計資料がなく掲上が不可能であった。おおむね、林地の未立木地に包括されていると思われる。

未利用草地は、「林野面積統計」の森林でない原野のうちのその他の面積である。

林地：人工林、天然林および未立木地は「林野面積統計」の森林の面積によつた。

天然林の針葉樹の欄に竹林面積を外数として（ ）書きしてある。また、未立木地のその他には伐採跡地が含まれている。

除地は、「民有林森林資源構成表」の更新困難地のうちの岩石地の面積である。

公共用地 その他：市町村面積から農地、草地、林地および宅地面積を差し引いたものである。

イ. 「D.I.D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は、該当市へ照会、調査して作成したが、市街地は昭和40年国勢調査におけるD.I.D.地区とした。なお、統計項目に対応する土地利用現況の内訳は次によつて算定した。

市街地の内訳：該当市における「市街化区域面積統計」を使用したが、一部現況に合わせて調整した。

なお、公共区および運輸区は、当該市の都市計画図を現況に合わせて調整し、当該図の面積測定により求めたものである。

市街地外の内訳：原則として1-1表「土地利用現況別面積市町村別内訳」によつた。但し、宅地は1-1表の土地利用現況別面積の宅地から1-2表の市街地の内訳の商業区、工業区および住宅区を差し引いたものである。公共用地その他の面積は1-1表の土地利用現況別面積の公共用地その他から1-2表の市街地の内訳のその他（公共区、運輸区）を差し引いたものである。

2. 面積統計のうち2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」以下については、原則として縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積測定を行ない製表作成したものである。

たとえば、2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、傾斜区分図（オーバーレイ）を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は土地利用可能性分級図および「地形分類図」を用い、前者においては土地利用可能性分級である類地パターンを、後者においては、地形区分のパターンをそれぞれ重ね合わせて面積測定を行ない、両者の面積的関連を握して作成したものである。

但し、3-3表「土地利用可能性分級別主要地域の概要」および3-4表「土地利用可能性分級別市町村別内訳」は縮尺20万分の1土地分類図作成を担当した関係機関、農業改良専門技術員および県庁関係各課で合議のうえ、内容を記載したものである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

土地分類等の名称 統計表の名称	1 地形 形 分 類 圖	2 起伏量 谷 密 度 圖	3 倾斜 区 分 類 圖	4 表層 地質 分 質 圖	5 平面 地質 分 質 圖	6 土壌 垂直 直 分 質 圖	7 土壤生産力可能等級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級 土壤利用可能現況分級	8 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級	9 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級 土地利用可能現況分級	10 標高 区 分 類 圖	11 県統計資料等 区 分 類 圖	12 市町村行政区画区分 区 分 類 圖
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳												○
1-2 DID、おおむね10万入以上の都市の土地利用現況の内訳												○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳			○									○
2-2 標高区分別面積市町村別内訳										○		○
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	○											○
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳				○								○
2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳						○						○
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳										○		○
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○									○		
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○							○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連										○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連							○			○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別町村別内訳									○		○	○

III. 利用上の留意事項

土地分類図の各図から面積測定された統計項目別面積は、各図の図示表現の技術的制約関係、すなわち縮尺20万分の1土地分類図の場合には最小図示単位として1km²(図上で5mm²平方)を原則とし、特殊な場合においても最小径400m程度(図上で2mm程度)を限度としたため、実際の面積とは一致しない場合もあると考えられる。とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあってはこの傾向が強いと考えられる。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく概略的な値をもつ分類項目の構成比率等を参考にするようにされたい。

IV. 表中の記号について

- 「-」は該当事実のないもの
- 「」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの(3-4表は例外)

V. 本調査に当つた関係機関は、下記のとおりである。

- 1 千葉大学 千葉市彌生町1番地
(理学部) 電話 0472-(51)-1111(代)
(教養部)
- 2 千葉県農業試験場 千葉市大膳野町808番地
(地力保全研究室) 電話 0472-(91)-0151(代)
- 3 千葉県林業試験場 山武郡山武町埴谷1887-1
(育林研究室) 電話 047588-1079(半自動)
- 4 千葉県 千葉市市場町2番地
(農産課) 電話 0472-(23)-2886(農産課)
(林務課) 2951(林務課)

A. 土地条件等の概要

1 地形区分とその性状等の概要

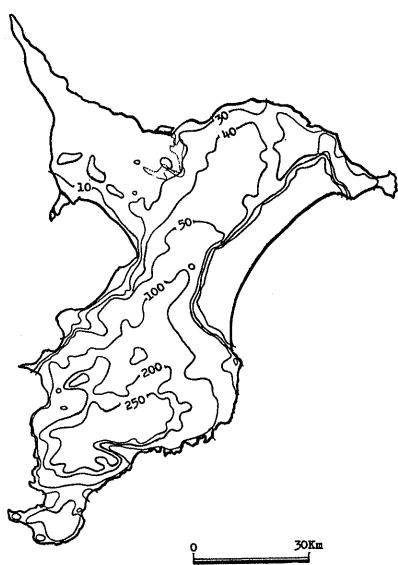
日本列島の肢体は、北緯36度の関東平野付近から東経140度の経線に沿って一気に北上し、本州弧は東と西に大きく裂け、関東平野を囲む山地の配列をみると、力学的にみてこの地域の基底に大きな歪みを残しているようである。関東平野東部をつくる房総半島、すなわち千葉県は起伏の少い平坦地の多いところであるが、その基底は上記のように決して安定したものではなさそうである。

本県の地形は、北部の大部分を占める平坦な下総台地と、南部の小起伏山地を含めた上総、安房の丘陵部を中心となっている。県の北部の東側には九十九里浜が長い弧をつくり、東京湾側には養老川・小櫃川・小糸川等の各河川がつくる三角州が特徴ある海岸線をつくっている。県南部の勝浦から保田の海岸には陸上地形を切断するような海蝕崖が続き、海底には陸上地形をそのまま延長できるような海底谷が多いことも本県南部の特徴である。

本県は見掛けが単調なだけに地形区分をする場合複雑な要素まで考慮しなくてはならない。地形区分は5万分の1を中心として作業を行ったものを表現可能な範囲で20万分の1に縮図した。細部は現地調査と航空写真を判読し、さらに実際に機上からの観察を加えて区分を行った。したがって地形分類図、傾斜区分図は細かいものとなっている。それは本県が首都圏内にはいっているという特殊性を考えてのことである。

次に本県には山地と呼ばれているところは稀で、分類図の小起伏山地なども従来の慣習では丘陵の名称の地域に入っているので、そのままの呼称を使用することにした。すなわち、鋸山山塊・清澄山山塊・嶺岡山山塊・富山山塊は安房丘陵の部に、鹿野山・富士山山塊は上総丘陵部に入れた。

なお、以下の説明文中の「切峰面図」とは、5万分の1地形図の各辺を10等分した区画内で最高点を読みとり、等高線をひいた図のことと/orい、図の中の数字の単位はm、250m以上は便宜上等高線を省略した。50m以下が下総台地、50~250mの間が上総丘陵、250m以上が安房丘陵に相当する範囲である。



1.1 山地

1.1.1 安房丘陵

第三紀層の砂岩・泥岩とその互層からなり、部分的に凝灰質のところがあり、玄武岩・はんれい岩・蛇紋岩等の火成岩が貫いている地域である。標高300m以上の独立峰が集中する地域で、本県では高さのうえでは最もふくらみをもつたところである。その中心部を切断するようにして東西に加茂川の低地（加茂川地溝帯）が入り、安房丘陵は北側の鋸山山塊（I-A-1-a）（標高329m）・清澄山山塊（I-A-1-b）（標高383m）等、堆積岩を主とした地域と、南側の嶺岡山・御殿山山塊（I-A-2-a）（標高364m）・富山山塊（I-A-2-b）（標高350m）などを中心とした火成岩の貫入を受けた地域に分れる。両地域の水系谷密度、傾斜分布をみると非常によく似ており岩質の違いによる侵蝕の差はみられない。谷の斜面形からみると壮年期の状態に開析された地域といえる。

1.2 丘陵地

1.2.1 上総丘陵

第三紀層の中でも固結度の低い砂岩・泥岩とその互層地域からなり、標高200m以下のところが多い。この中に鹿野山（標高352m）・

富士山（標高313m）山塊群（II-A-4-C）を含めてある。切峰面図では閉曲線で表現される独立峰が多い。養老川・小櫃川・小糸川の各河川の上流はこの地域に集中し、主谷は地層の走行を直角に切って流れ、支谷はさらに地層を細分している。山地斜面は直線形が多く侵蝕の過程でいうと壮年期の様相をあらわしている。さらに細くみると、この開析の度合は南の安房丘陵付近（上総丘陵南部II-A-4-a・4-b・4-c）に大きく、北側の下総台地附近（上総丘陵北部II-A-1）から東京湾側富津町に面する地域（II-A-2）に小さい傾向がある。

このような特徴からこの丘陵を上総丘陵北部（II-A-1）・上総丘陵西部（II-A-2）・上総丘陵東部（II-A-3）・上総丘陵南部（II-A-4）に区分した。この上総丘陵地域は基盤の砂岩・泥岩の上に発達する土壤層は薄く、集中豪雨の際、容易に剝離する傾向がある。さらにこの地域の基盤は崩壊しやすい傾向があり、上記養老川・小櫃川・小糸川等の各河川の上位段丘堆積物は全て周囲の山地斜面から崩壊脱落した岩塊、岩片からできているところが多い。

1.2.2 夷隅丘陵

第三紀の固結度の低い砂岩泥岩互層地域からなる丘陵地で、大部分が標高200m以下の地域である。夷隅川によって侵蝕された地域で、夷隅川の上流の広い谷底面は太平洋側の御宿町・勝浦市に近い分水界附近までせまっている。大部分は丘陵化されているが、御宿・勝浦など海側からの侵蝕谷は深く、夷隅川上流の分水界にせまり、遠からずして争奪現象を起こす地域である。

1.2.3 館山丘陵

第三紀の泥岩・砂岩の互層からなる地域である。船ヶ作（標高160m）・高塚山（標高206m）を中心とした開析のすんだ館山南部丘陵（II-C-1）と、その北側にある標高100m以下の羽毛状に開析された丘陵化した丸山丘陵（II-C-2）からなる。規模の小さい丘陵性山地のため大きな河川はなく、乏水性の地域もある。館山南部丘陵は、船ヶ作附近を中心として山地斜面の崩壊がめだっている。近年首都圏内の行楽地としての性格が次第に強くなり、丘陵地を造成して宅地化、山林の伐採もすすんでいる。

1.3 台地

1.3.1 下総台地

本県の生活的主要部を占め、大部分が標高50m以下に広がる広い台地面で、北西側（関宿方向）と北東側（佐原方向）に緩く傾いている。第三紀の砂岩・泥岩互層を基盤とし、上位に成田層と関東火山灰層をのせている地域である。台地面の中央主要部は印旛沼に入る谷によって樹枝状に開析され、東京湾側の市川一千葉間と九十九里側では海岸に直角方向に入る谷によって台地面は刻まれている。近年、首都圏の拡充によって、航空基地・団地の新設等、台地面の利用度は極度に高くなりつつある。しかし、地下水開発の総合計画が遅れているため、水不足を来しているところが次第に多くなる傾向がある。

この地域の台地を刻む谷の特徴として、台地中心部まではいる幅の広い谷は隨所に未固結・粘性の高い泥炭層を包含し、軟弱地盤をつくり、谷の埋め立て作業に障害となっている。さらにその谷壁は集中豪雨の都度、崩壊しているところが多い。分水界は台地の東より印旛郡八街から香取郡佐原市の方向に主分水界があり、一方、副分水界は東京湾に沿う四街道、鎌ヶ谷をとおり野田市から関宿附近に至る。（切峰面図の20mの等高線によって囲まれたところ。）2つの分水界にはさまれて印旛・手賀沼の低地帯がある。印旛沼の東縁から成田・佐倉一千葉を結ぶところは、台地面の低部にあたり、その東側は谷密度が大きく西側は小さい。この境目附近は切峰面図の40mの等高線が通るところでもある。切峰面図の40mの等高線を境として西側では等高線の屈曲が多く海拔高度は低い。これにくらべて東側の海拔高度は次第に高くなり単調な形態となっている。50m以上のところは東の飯岡台地（III-A-4）のみとなる。そこで本図の目的である土地利用可能性からみると、切峰面図の20m、40m、50mの等高線を基準とし次のように区分した。下総台地東部（上位面）（III-A-1）。下総台地中部（中位面）（III-A-2），北西部（下位面）（III-A-3）である。

飯岡台地は周囲を急崖に囲まれ、台地面の高度は全体として南側から北西側に傾いており、西南端は屏風ヶ浦の海蝕崖となっている。水系谷密度、台地面高度、台地を囲む直線状の急崖、関東火山灰層・成田層の厚さ、基底の高さ等から下総台地とは別個に考えるべきものである。

1.4 平野

下総台地の東と西には対照的な平野部が広がっている。太平洋岸地域にある九十九里海岸平野（IV-A-1），夷隅川低地（IV-A-2），鴨川低地帯（IV-A-3），千倉低地（IV-A-4）などの外洋に面した平野部と、東京湾側に面した市川一船橋低地（IV-B-1），養老川三角州（IV-B-2），小櫃川三角州（IV-B-3），小糸川三角州（IV-B-4），東京湾袖ヶ浦低地帯（IV-B-5）などの内湾性の平野部である。

1.4.1 太平洋岸地域

太平洋岸地域の平野部の特徴は、海岸に平行した数列の長い砂丘列と、砂丘列間にある後背湿地である。九十九里海岸平野（IV-A-1）はその最も代表的なものである。当地域は茂原・一宮地域にある天然ガスに附随した工業地域を除き、自然景観の保存が良好であるため首都圏の行楽地へと変貌しつつある。

1.4.2 東京湾海岸平野

東京湾海岸平野は江戸川、養老川、小櫃川、小糸川などの各河川がつくる三角州と下総台地を切って東京湾に出る小河川がつくる三角州性の堆積物が複合したところである。疊層を挟んだ砂と粘土の互層地帯でもある。これら大小三角州地帯はそのまま臨海工業用地と化し、さらに埋立地が広がりつつある。この埋立地は経済成長を与える近代産業の工業生産地帯となっている。しかし工業用水の汲み上げによる地盤沈下の激しさが漸く現われてきた。

1.4.3 利根川低地帯・江戸川低地帯

下総台地の北縁と西縁には利根川と江戸川の堆積物によってつくられた利根川低地帯（IV-C）と江戸川低地帯

(IV-D)がある。向河川とも増水時には洪水が起きやすいところである。典型的な軟弱地盤なので工業地域の拡大とともに地盤沈下の現象が徐々に起りつつある。

1.4.4 館山平野

本県の南、浦賀水道側には広い館山平野(IV-E)がある。海岸には数列の砂丘列があり、平野をつくる堆積物は新らしく薄い。平野を流れる小流にも基盤を見ることができる。平野を囲む山地は規模が小さいため、大きな河川がない乏水性の地域で将来の首都圏のBed townとなる性格からみて、早急な地下水開発が待たれるところである。

川崎 逸郎 (千葉大学)

2. 表層地質の分布とその性状特の概要

1. 地質構造

千葉県の地質は、銚子半島に小地域の分布を示す中、古生層のほかは、新生界が大部分である。そのうち、第四系は主として北半部を、第三系はおもに南半部を構成している。

銚子附近に露出する古生層は、西にいくにつれ地下にもぐり、房総半島の基盤岩をなしている。このことは各地のボーリングの資料によって確認されている。(第1表)。

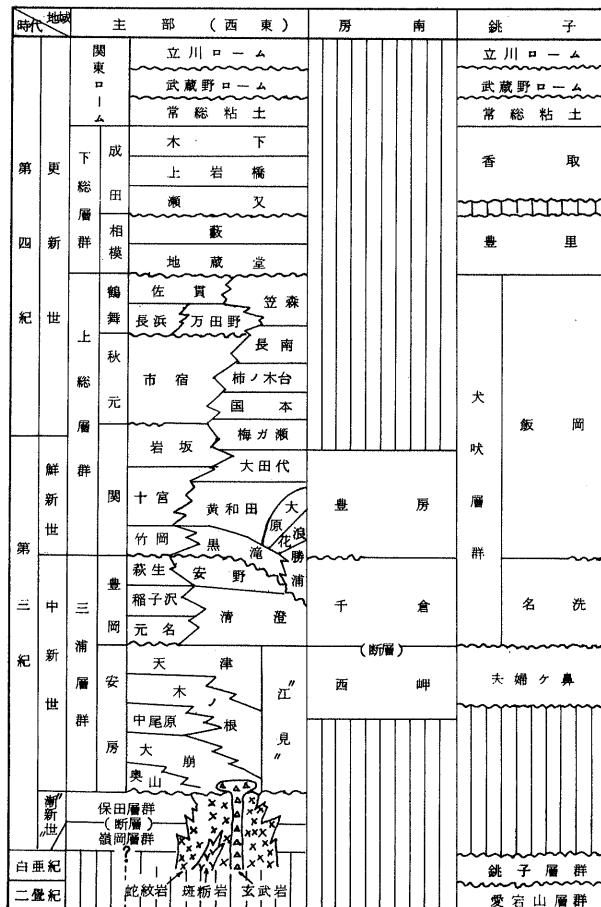
第1表 基盤岩の深度

坑井名	小見川R-1	成田R-1	多古R-1	飯岡R-1	旭R-2	八街R-2
基盤の深度(m)	659	1018	813	400	737	1909
地質	古生層 硬砂岩	緑色片岩	緑色片岩	古生層 アルゴーズ砂岩	古生層 砂岩	白亜系 泥岩砂岩互層

これら基盤岩は、西南日本における中央構造線の延長と考えられる関東構造線(小林 1941), 利根川構造線(山下 1957)で北を境され、東西方向の地質構造をもって分布している。

この基盤の上にのる新生界は、嶺岡山を中心にして東西に延びる分布をもって古第三系から始まっている。第2表には地質構造の発達にもとづく層序を示してある。

第2表 千葉県の地質層序(地層名を示す)



新生界の地質構造は、中新世中ごろにおこった丹沢造山運動、鮮新世の鋸山・黒滝変動、新第三紀から現在にまで及ぶ関東造盆地運動の影響を受けている。

したがって、嶺岡層群・保田層群は、東西方向の分布をもちながら、褶曲や断層などで複雑な構造となっている。これに対し、安房層群、豊岡層群は東西方向に軸をもつ褶曲構造がよく認められ、鋸山向斜などがその例である。

さらに新しい上総層群、下総層群は関東構造盆地の中心の移動に伴い、北西～北へ緩い傾斜をもつ単斜構造を示している。

また、最上部の関東ローム層は、一部形成されていた地形面に対応し、ほぼ水平に被覆している。

2. 地層の分布とその性質

(1) 嶺岡層群

安房郡富山町から愛宕山、浅間山を経て鴨川海岸まで帯状に分布している。少くとも、1000m以上の厚さをもつと推定され、珪質頁岩と細粒砂岩を主とし、石灰岩やチャートもはさまれている。放散虫、有孔虫などの化石が含まれているが、地質時代は不明で、古第三紀と推定されることが多い。

(2) 保田層群

鋸南町保田一鴨川市以南、那古一北三原以北の地域に地塊となって断片的に分布する。1,200m以上の厚さをもち、塊状の凝灰質砂岩、塊状泥岩がおもで、そのほか礫岩、砂岩、凝灰岩などを伴っている。二枚貝化石の産出から地質時代は漸新世とされており、三浦半島の葉山層群に対比される。

(3) 安房層群

安房郡北部および君津郡南部、夷隅郡南部に広く分布し、約2,000mの厚さをもち、下位より奥山互層、大崩礫岩層、中尾原互層、木ノ根頁岩質互層、天津泥岩層に区分される。Lepidocyclina, Miogypsinaなど有孔虫を始め軟体動物化石も産出し、地質時代は中新世中期とされている。

(4) 豊岡層群

君津郡の南部、夷隅郡南部および安房郡の北部に分布し、その厚さは東部で1,200m、西部で550mである。西部では下位より千畳礫岩層、稻子沢泥岩層、萩生火砕岩層に3分されるが、東部では清澄砂岩層と安野層に2分される。時代は中新世後期とされ、三浦半島の逗子層と対比される。

(5) 上総層群

房総半島の中部に広く分布し、勝浦—竹岡の線と横芝—東金—佐貫の線の間で地表に露出している。全体での地層の厚さは4,000mに及ぶが、地域によって異なり、小櫃川流域では1,500~1,600mとされている。第2表のように東部と西部で地層名も岩相も変わっているが、東部では11層に細分されている。

梅が瀬層の中部を境として、下位は鮮新世、上位は更新世古期とされている。

上総層群の岩相は、全体として、やや泥岩がちない砂・泥岩半々程度の場所が多いが、養老川流域から西部に向って、明らかに砂がちの岩相となっている。

(6) 下総層群

千葉県北部を中心に広く分布する上部更新統であり、広義の成田層群に相当する。下位より地蔵堂、藪層よりも相模層群と、瀬又、上岩橋、木下層よりなる狭義の成田層群にわけられる。地層の厚さは250~280mであって、北または北西にきわめて緩く傾いているが、上部の方は、ほとんど水平に近い。

岩相は、砂層を主とし、泥層・火砕質層をはさみ、貝化石を多く産する内湾性の地層であって、古東京湾の堆積物とされている。

(7) 関東ローム層

下総台地および上総丘陵をおおつて最上部に関東ローム層がある。その厚さは3~5mぐらいであって、武藏野ローム、立川ロームを主体としている。この地層は、おもに富士火山起源の塩基性火山灰の風化層であって、外観は、淡褐~褐色の特徴ある色を呈している。武藏野ロームの基底近くには10~20cmの黄灰色の東京浮石層があり、これは箱根火山中央火口丘に由来するとされている。

(8) 沖積層

千葉県各地における海岸低地、利根川および江戸川低地、台地丘陵を刻む谷などを構成する堆積物が主体であるが、台地丘陵地にかけて、薄い表土としても存在している。

沖積層の厚さは、堆積前の地形に支配され、厚いところでは30mにも及んでいる。東京湾岸低地では、下部より、砂礫層、粘土層、砂層、最上部砂および粘土層に4分されており、各層の厚さは地域によって大きく変化している。

3. 各層の土質工学的性質

沖積層の最上部層は、標準貫入試験のN値は砂質土で3～6、粘性土で0～2を示し、砂層ではN値6～25、粘土層では、0～6、砂礫層は20前後の値を示している。

関東ローム層は標準貫入試験のN値が2～6が多く、単位体積重量 1.37t/m^3 と小さく、1軸圧縮強度は 0.93kg/cm^2 となっている。

これに対し、洪積層として北部の台地の大半を構成する成田層群の砂層では、標準貫入試験のN値は20～40を中心 10 から 50 以上を示し、単位体積重量 1.80t/m^3 、1軸圧縮強度 1.00kg/cm^2 となり、弾性波伝播速度も縦波で 1.67km/sec となっている。

相模層群の砂層では、N値は50以上のものが多くなり、単位体積重量 1.85t/m^3 、1軸圧縮強度 1.78kg/cm^2 、弾性波伝播速度 1.84km/sec となっている。

上総層群になると固結が幾らか進んでいて、強度も大きくなっている。シルト岩では、標準貫入試験のN値が、9.3%まで50以上であって、特に200以上が23%となっている。これに対し、砂岩では91%までが50以上となり、下半部では100以上のN値を示す方が多くなっている。単位体積重量は、シルト岩で 1.89t/m^3 、砂岩で 1.97t/m^3 、1軸圧縮強度は地表に垂直方向で、シルト岩 27.6kg/cm^2 、砂岩 17.55kg/cm^2 となる。また、弾性波速度は縦波で、シルト岩が 1.78km/sec 、砂岩が 1.86km/sec となっている。

三浦層群の砂岩ではシルト岩の標準貫入試験のN値が平均145、単位体積重量 1.92t/m^3 、1軸圧縮強度が地表に垂直方向で 63.03kg/cm^2 、弾性波速度が縦波で 2.10km/sec となっている。

なお、風化状況については、各岩とも、風化殻の厚さは約3m未満で、浅い。

4. 地下資源

千葉県の地下資源としては、天然ガス、砂鉄、天然ガス採取に伴うヨード、骨材用の砂利がある。

(1) 天然ガス

千葉県の天然ガスの分布は広汎にわたり、その推定埋蔵量は、九十九里地帯で 653億m^3 、内湾地帯で 534億m^3 、内陸地帯で 637億m^3 とされ、県下全域では $2,000\text{億m}^3$ をこすとされている。現在では1坑井当たり $5,000\text{m}^3/\text{日}$ 以上のものもあり、開発は燃料用、ガス化学工業における需要とともに進んできている。

(2) ヨード

千葉県では天然ガスかん水中のヨード含有率が高いので、この利用が古くから行われていた。ヨード量は $1\text{l 中 }100\text{mg}$ 内外であって、九十九里一帯での含有ヨード賦存量は、約 48.3万トン と推定されている。

現在、年産 $4,400\text{トン}$ に達し、うち9割近くを輸出し、世界一のヨード生産量を示している。

(3) 砂鉄

砂鉄資源は、千葉県ではおもに沖積世の海浜堆積物から求めている。九十九里の坂岡、東浪見、一宮、安房の平砂浦、南三原などに分布しており、約 20万トン （昭和43年）の年産をあげている。

(4) 骨材資源

千葉県には、碎石として使える岩石は、銚子地方の古生層および嶺岡地方の火成岩を除いてほとんどなく、また、砂利の中でも、川砂利、陸砂利ではなく、山砂利が主体となっている。現在、市宿層の砂、長浜砂礫層、万田野砂礫層の砂利および安房南部における砂丘の砂が採掘されていて、その採取量は年間 $1,500\text{万m}^3$ にも達している。

近藤精造（千葉大学）

3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

丘陵と台地、沖積低地とによって地形が構成され、固結度の弱い岩石が、直ちに不連続的に風化されることの多い房総は、林地土壌にとっては、生産力に乏しい風土ということができる。

起伏量の小さい褶曲状の丘陵地では、山頂部は丸く、斜面はなだらかな上昇地形であることから、土層の浅い堅密な残積土が生成されるのが普通であるが、ひどく乾く環境ではない。

そのような地形では、適潤性褐色森林土壌の断面形態に、粒状構造や堅果状構造などを含んだ偏乾性土壌を見ることが多い。この土壌も本来は適潤性褐色森林土壌の一部であるが、植栽樹種によっては地力が著しく劣り、また房総の地形を支配する丘陵地形に由来して、その分布面積の広いことなどから、とくに普通の適潤性褐色森林土壌（以下褐色森林土壌(I)という）と区分して、褐色森林土壌(II)として表示することとした。

農耕地土壌の生産性は土壌の諸種の理化学性に支配され、これらの性質は母材、土性、乾湿に集約される。とくに火山灰性、非火山性のちがい、細粒か否かのちがい、地下水の高低にそのほとんどがつくされると言ってよかろう。この点において千葉県農耕地土壌の半分をしめる火山灰系土壌のうち、淡色黒ボク土壌は黒ボク土壌に比して他母材の混合により生産性のやゝ高くなっているものと、表層の腐植層の流失により黒ボク土壌よりやゝ生産性の低いものの両者が一つの統群になっている。しかし農耕地の場合後者は前者に比して面積が小さいのであえて一つのものとしてあつかった。

I. 台地の土壤

下総台地は標高により上位面、中位面、下位面、飯岡台地の4つに区分される。そのいずれもが、ほとんどすべて火山灰に被覆されており、黒ボク土がほとんどである。

I-1 下総台地上位面

大栄町、成田市東部富里村、八街町、芝山町、山武町から千葉方面へ流れる中央部のものと、これに対して佐原から栗山川周辺のやゝ低い中位面をへだてた東部の小見川町西部、栗源町東部、山田町の二つのグループにわかれる。この面の中央部のグループは黒ボク土壌を主体とし、凹地に厚層黒ボク土壌が分布し、部分的に淡色黒ボク土壌が若干分布している。東部のものは中央部と同様の土壌であるが淡色黒ボクのしめる割合がやゝ多くなっている。また利根川沖積に面する縁辺部においては火山灰に異母材が多く混合しており、腐植含量の低い、乾性褐色森林土壌、褐色森林土壌(I)、褐色森林土壌(II)などが分布している。

この地域の黒ボク土壌は中位面西部のものとともに最も軽鬆であり、磷酸固定力が大きい。一方水分保持力は大きく干害の危険度は小さいが、透水係数が小さく、水の上方向への移動がわるい。以上のことから農耕地としての生産力は高くないが、広面積なので農業生産の規模拡大に適している。これに比して淡色黒ボク土壌は表層の腐植層の流失したものは農耕地、林地ともに生産力可能性は黒ボク土壌より低いが、他母材が混合したために腐植含量の低下したものは、黒ボク土壌の欠点がうすめられ、黒ボク土壌よりやゝ生産性が高い。また凹地に介在する厚層黒ボク土壌は、農耕地においては過干のおそれの少ない外、黒ボク土壌に比して生産力可能性は大きな差はないが、林地においてはこれが林木の生産性に大きな影響を与える、黒ボク土壌に比して大きな生産性を期待することができる。またこの地域の褐色森林土壌は黒ボク土壌に大量の異母材の混じたものであり、このため黒ボク土壌の化学性の悪い所がカバーされ、さらに黒ボク土壌のもつ物理性のすぐれたところももつていて、農耕地の生産力可能性は黒ボク土壌よりも高い。

I-2 下総台地中位面

下総台地中位面は下総町、栄町東部から成田市西部をへて佐倉市、千葉市、四街道町にいたり、船橋市、市川市北部から鎌ヶ谷町、松戸市に至る西南部のもの印西町を中心とする西北部のものと、佐倉から栗山川縁辺の3つのグループが存在する。中位面のうち西南部のものと西北部のものは上位面中央部の土壌とほぼ類似しており、そのほとんどが軽鬆な火山灰系の黒ボク土壌であり、その中に淡色黒ボク土壌と厚層黒ボク土壌が点在している。また栄町北部の利根沖積に面する縁辺部には上位面中央部と同様に褐色森林土壌が分布している。この地区の黒ボク土壌、厚層黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌の生産性は上位面のものとほとんど同じである。

中位面のうち東部のものは河岸段丘的な地形が多く、黒ボク土壌よりも淡色黒ボク、褐色森林土壌の火山灰に異母材を多く混じた土壌の比率が高い。このため生産性は一般に中位面のものよりも高い。

I-3 下総台地下位面

下総台地下位面は印旛沼、手賀沼周辺の台地から柏をへて野田に至る西北部のものと、千葉市、習志野市、船橋市の市川ー船橋低地に面する台地縁辺部の西南部の2つがある。

西北部のものは印旛沼、鹿島川、手賀沼、利根川、江戸川に面する段丘的地形の上に淡色黒ボク土壌が多く分布している。これは前者と同じく、火山灰に異母材の混じたもので黒ボク土壌よりやゝ生産性が高い。この土壌をのぞく全体のほぼ60%が黒ボク土壌である。この地域の黒ボク土壌は上位面、中位面のものと生産性はほど同じである。

下位西南部の淡色黒ボク土壌と黒ボク土壌の比率は西北部のものとほぼ同じであるが、この地域の淡色黒ボク土壌は火山灰に砂丘の砂の混じたものであり、他地域の淡色黒ボクに比してやゝ粗粒である。生産力は同様に黒ボク土壌よりやゝ高い。この地域の黒ボク土壌も多少とも砂丘の砂の混入をうけているため他地域の黒ボク土壌よりやゝ生産性は高い。

I-4 下総台地、飯岡台地

飯岡台地は異母材の軽度の混合をうけた淡色黒ボク土壌がほとんどであり、土壌生産性は下総台地中他の地域よりも概して高い。この地域の淡色黒ボクは腐植含量、有効態窒素が概して少ない。

II. 丘陵地の土壤

標高により区分された丘陵地の中に於ても、地質によって、地形、土性、母岩の風化過程などが異なり、あるいは母材の堆積様式が相違する場合もあるため、林地土壤の性状や分布傾向は一様でない。よって、ほぼ地質層群にもとづいて再区分した地域毎に、その傾向を述べることとする。ただし地図上で地形区分された丘陵部分のうち、この中に介在する養老川段丘、小櫃川段丘、小糸川段丘、湊川段丘、茂原段丘、睦沢段丘、夷隅川段丘、加茂川段丘、国分段丘、丸山段丘、などの底部土壤はそれらが連続する低地の土壤と同時に記述することにする。

II-1 上総丘陵北部および西部

房総東線の菅田一大網を結ぶ線をかしらに、南西方向、木更津に及ぶ帶状部分が房総丘陵の最北端地域である。ここでは洪積層の上部を被覆している関東ロームが林地土壤の黒ボク土となって分布する。保水力が大きいのでいちじるしく乾燥することはないが、地形がなだらかな凸斜面の多い波丘地であるため、褐色森林土壤(II)の分布が主体をなし、北斜面や凹地底に褐色森林土壤(I)が、やゝ広がりのある台地面や、たるみ部分に黒ボク土壌の分布をみる。

ただし、この地域のうち、小櫃川を境いとして清川付近から舟山、大塚山に至る地帯は、ロームの被覆が薄いうえに、下層は、そしような砂の層であるため、乾性褐色森林土の分布が主力をなし、地域全般に生産力が低い。

II-2 上総丘陵東部および南部

上記波丘地の南に接して大網—茂原—一宮を結ぶ線から南西方向、万田野、愛宕山を経て鹿野山へ走向する鶴舞亜層群と、秋元亜層群がある。

この地域のうち、鶴舞亜層群では養老川以東、秋元亜層群では小櫃川以東の部分は、侵食に弱い軟砂岩を母岩とした砂質土で、房総では最も瘠悪林地の多い地帯である。長生群内の尾根筋を占める残積性未熟土壤、大福山北部の粗粒残積性未熟土壤、その他の大部分は、母岩の上に、極めて剝離し易い状態で薄く被覆している乾性褐色森林土壤の分布が特徴的である。

この地帯は、山裾の僅かの崩積地を除いた全域が、天然生広葉樹林となっているが、防災的見地からはこの現状が最も安全で、かりに林種転換を行う場合は、皆伐をさけるなどして、侵食、崩壊の危険を除いた更新法をとるべきであろうと思われる。

西部地区は、砂層の上を関東ロームが被覆して丸い山頂をもつ波丘地を形成している。黒ボク土壌はこの地域に多く、愛宕山、鹿野山各山塊の頂上台地部分に広く分布する。

褐色森林土壤(I)は谷あいと北斜面の中腹以下に、乾性褐色森林土壤は山頂や南斜面の中腹以上を占め、褐色森林土壤(II)が、その他の地形に分布する。

II-3 安房丘陵北部および安房丘陵南部のうち嶺岡富山山塊

秋元亜層群の南に、夷隅郡全域を包括して西へ、上総湊に走向する関亜層群、更に清澄山脈を構成する豊岡亜層群、安房亜層群から、嶺岡山、富山の山塊を含めた千倉低地以北の一帯は、標高も高く、起伏量も比較的大きくて、小規模な山地地形の山容をなしている。

房総では、この地帯に最も生産力の高い林地が集中する。とくに泥岩を母岩とした礫まじり粘土質土壤においてすぐれ、湿性褐色森林土壤は、この地帯の岩屑堆積地にのみ分布する。

泥岩地帯では褐色森林土壤(I)の分布が主体で、方位にかかわらず概ね中腹以下を占め、山頂部分と半島状に突き出た乾燥地形に褐色森林土壤(II)または乾性褐色森林土壤が分布する。

凝灰質砂岩を母岩とする東西両面の沿海風衝地や、清澄山脈の稜線部分には乾性褐色森林土壤、残積性未熟土壤の分布が見られ、泥岩地帯に比べ、かなり地位が低い。特異なものとして、嶺岡の稜線に沿って、東西に細長い塩基性岩類を母岩とした暗赤色土壌および同系の未熟土がある。

Ⅱ-4 安房丘陵南部

千倉低地以南の房南丘陵では、館山から神余を経て白浜に至る通路を境いとして、東西では土壤の分布傾向が異なる。

東部においては谷あい、北斜面に褐色森林土壤(I)が、南斜面に褐色森林土壤(II)が分布し、尾根筋には乾性褐色森林土壤が分布して面積的にほぼ三等分している。

西部丘陵地は東部に比べ著しく地力が劣り、乾性褐色森林土壤の分布が主体をなすばかりでなく、平砂浦附近では、かなりの内陸に至るまで砂丘未熟土壤が分布する。また、残積性未熟土壤は、千倉から洲崎に至る沿海風衝地の全域に分布している。

III. 低地の土壤

Ⅲ-1 九十九里海岸平野（茂原段丘 瞳沢段丘底部）

千葉県における低地のうちもっとも広面積をしめるものである。主として海成の砂質土からなりたっている。海岸線に平行した最大10列の砂丘列とその間の低地からなりたっている。砂丘間の低地は主として粗粒グライ土壤からなりたっている。この土壤は從来水稻の生産性の低い土壤であったが早植栽培が普及してから生産性はたかまつて来た。その他砂丘間低地のうち、台地に近い1~2列は壤質のグライ土壤および黒泥土壤があり、そのひどいものは生産性が低い。またこの地域の一部とされている干潟耕地の北部には細粒グライ土壤が分布している。この土壤は塩性の沼成土壤で千葉県水田においては特殊な土壤で水稻の生産性はきわめて高い。また砂丘上は主として村落および畠地として利用されており、海岸に近くにつれて林地がふえている。この砂丘上の土壤は粗粒褐色低地土壤がほとんどであり、農耕地の生産性はわるくない。海岸線にごく近いところには砂丘未熟土壤が分布しており、そのほとんどが林地であり生産性はきわめて低い。また茂原地区には壤質の褐色低地土壤が分布している。この土壤は粗粒褐色低地土壤とほぼ類似した生産性をしめす。また茂原段丘、瞳沢段丘の底部の沖積土壤は排水がよくグライ土壤の外に細粒灰色土壤と灰色土壤が分布し、生産性は低くない。

Ⅲ-2 夷隅川低地（夷隅川段丘底部）

海岸近くはグライ土壤であり、内陸に入ると細粒グライ土壤であり、上流にわずかに細粒灰色土壤が分布する。そのほとんどが水田として利用されており、生産性は中位である。この地帯の水田中に小面積の畠が分布しており主として褐色低地土壤であるが、生産性は中位で、まとまった生産物は少ない。

Ⅲ-3 鴨川低地（加茂川段丘底部）

主として細粒グライ土壤で、第三系泥岩類の風化物の再堆積したものと思われる。一部に壤質のグライ土壤も分布するが加茂川沿川部は概して排水がよく細粒灰色低地土壤が分布している。この地帯の水田は旧来は生産性の高い土壤であったが、早植栽培の普及とともにあって県下全般の収量が上昇したのにとりのこされている地帯である。

Ⅲ-4 千倉低地（丸山段丘底部）

そのほとんどが粘質土である。海岸線に砂丘未熟土が分布する外は、そのほとんどが細粒グライ土壤と細粒灰色土壤であり、その生産性は前者とはほぼ同一である。

Ⅲ-5 市川一船橋低地

そのほとんどがグライ土壤と粗粒グライ土壤であるが、この地域は市街化地域であり、正常な農耕生産を期待することは出来ない。

Ⅲ-6 養老川三角州（養老川段丘底部）、小櫃川三角州、（小櫃川段丘底部）、小糸川三角州、（小糸川段丘底部）

段丘底部の上流部は主として灰色低地土壤、細粒灰色低地土壤で水はけは概してよいが狭小谷であるため日照不足、冷水湧出などのために高い生産をのぞめるところは少ない。中流から下流にかけてはやゝ水はけ悪く、グライ土壤、細粒グライ土壤がふえてくる。海岸部の三角州にはグライ土壤とともに粗粒グライ土壤、粗粒グライ土壤、粗粒灰色低地土壤が多く分布してくる生産性は中位であるがこの地区は転換可能水田が多い。小糸川三角州の富津岬には砂丘土壤が多く分布している。

Ⅲ-7 館山平野（国分段丘底部）

館山平野の海岸部は粗粒灰色低地土壤であり、平野の内部から段丘底部にかけては細粒土壤であり、平群川の沿岸は排水がよく、細粒灰色低地土壤であり、平群川主流からはなれた部分はそのほとんどが細粒グライ土壤である。この地域の水田は生産性は高くないが、そ菜への転換可能の水田がきわめて多い。この中に畠として褐色低地土壤、細粒褐色低地土壤がごくわずかに分布している。

III-8 利根川低地帯、江戸川低地帯

そのほとんどがグライ土壌であり、部分的に細粒グライ土壌、粗粒グライ土壌もある。この地帯の水稻の生産性は概して高い。またこの地帯に畑として各種粒径の褐色低地土壌がわずかずつ分布するが、自家用そ菜類を生産する程度である。

三好 洋（農業試験場）

榎本 善夫（林業試験場）

4. 土地利用可能性分級等の概要

4-1 土地利用現況の概要

千葉県の土地全面積 50万8千haの土地利用区分を大別すると、農用地が最も多くて全体の37.1%を占め、ついで林地の35.4%，その他が27.5%となっている。

林野率の35.4%は、全国的にみてかなり低い方であり、しかもその約91%は民有林である。また、人工造林地面積の全林地面積に対する割合、即ち人工林率は約58%で、全国平均の32%を大きく上回っている。この特色は、平坦地の占める割合が大きいこと、林地は標高の低い里山であること、さらに首都圏内にあって交通もよく、都市化、工業化の開発が進んでいることに、由来している。

林地の分布は、地形に基づいた地域差が著しく、面積的には、長生、市原以南の房総丘陵地に集中し、ここに全林地面積の約69%が、ついで北総台地に約28%，残りが九十九里等の低地部分に分布している。

地域毎にみた人工林率は、丘陵地域で約33%，台地部分で約77%，そして低地帯は、ほとんど全林地が人工造林地である。古くは、クヌギ、マテバシイ等の広葉樹の人工造林もあったが、近年は全くそのかけをひそめた。したがって上記の人工林率は、そのまま針葉樹林率を示すものとみて差し支えない。

人工造林の樹種別構成をみると、スギ約39%，マツ類（アカマツ、クロマツ）約56%，ヒノキ約5%となっており、主力はマツ類で、総体的にみて、林地生産力の低いことを物語っている。ただし近年は、虫害によるマツ林の枯損被害のひどいことが主因となって、マツ類に代って、ヒノキの新植面積が増加している傾向にある。

千葉県の農地率は全国的に低い方ではない。これは山地がないため、耕作地として適しているためである。農耕地は水田 103,000ha, 普通畑 77,000ha, 樹園地 7,000ha, 牧草地 1,000ha, のうちわけとなっている。

水田はその大部分が普通田で、はす田などの特殊田は300haにおよばない。近年米の生産過剰から水田の畠転換がすすめられている。千葉県水田のうち畠転換が大がかりの土木工事をともなわずに可能な乾田および半湿田は10%の10,000haに満たない。普通水田はほとんど水稻が栽培されているが、その作期が4月下旬から5月上旬に植えられ、9月上中旬までに収穫のおわる早植栽培がほとんどである。本田の田植期の早いのと強湿田が多いので、裏作率は3%にみたない。

普通畑は従来は大小麦が全国的に栽培されており、夏作は落花生と澱粉甘藷が面積的に圧倒的に多かった。しかし社会状勢の変化にともない、大小麦の栽培は一部のビール麦をのぞいて急減し、また澱粉甘藷の栽培も急激に減少し、澱粉甘藷栽培地域にも落花生の作付が行なわれるようになった。しかしそれよりも急激に面積をのばしたのは、さといも、しようが、キャベツ、すいか、ねぎ、だいこん等の露地そ菜であり、トマト、ピーマン、きゅうりを中心とするハウスそ菜の作付である。

牧草地は1,000haときわめて少いのは、近郊畜産に例を見るごとく濃厚飼料にたよる搾乳農業が多いためである。

樹園地はナシ 1,500ha, 柑橘 1,200ha, 栗 1,000haなど果樹園が 5,000ha, その他桑園などは 1,200ha となっている。

京葉近郊の都市地帯の住宅地化にともなって、この地帯のナシ園、ハウスそさい、露地そさい栽培などが北総東部、九十九里、県南方面に移動したり、国民食生活の変化とともにハウスそさいの栽培が急激にのびるなど土地利用の現況はかなり流動的である。

千葉県は従来の農業県から、工業県へと急速に移行しつつあり、また位置的にも首都圏内にあるため、都市化、工業化が今後ますます進展するものと予想され、それらの用地として、農林地の潰廃が進み、将来の土地利用区分は、大きく変るものと見込まれる。

したがって、それに対応して、住民の生活環境保全のために、積極的な自然の保護、緑地帯の維持、造成の必要性が痛感されるときである。

各論

1. 下総台地

この地域の林地面積 52,121ha は林野率 22.4% にあたる。前述のとおり、この林地の大部分が人工造林による針葉樹林である。地形的地理的に土地の開発がとくに進んでいる地域であるために、天然性広葉樹林は僅か 11% にすぎない。

人工造林地の樹種別構成は、マツ類約 69%，スギ約 28%，ヒノキ約 2% である。主力樹種のマツ類は、飯岡台地のほぼ全域から小見川、佐原、印西にかけての利根川に沿うた台地部分、更に成田、佐倉にかけてと、いづれも北総台地では最も起伏の多い地形の乾性褐色森林土壤の分布地域を中心として造林されている。やや広い平坦な

台地面では、農地をはさんでマツ類、スギが混在するが、この林地は切替畑として農耕に利用されることが多い。

北総台地における唯一の絶対林地とみられる台地面と沖積低地との接合部にあたる細い帯状斜面では、南面がマツ類、北面がスギと、かなり明瞭な使い分けが行われ、北総台地でのスギの一等地は、この北向斜面と、沖積低地の谷がしらに当る谷形凹地に限られている。

台地上の土壤は理学性が悪いうえ、冬期は寒冷気が停滞し、または集積してスギ林の成立を阻害する地形にあるため、ここにスギを造林しようとする場合は、開墾造林や樹下植栽の更新が必要であった。その慣行技術を山武林業と呼ぶ。

この地域の台地面の畑は、旧来は栗山川周辺の中位面以東は澱粉甘藷、中央部上位面以西は落花生、東葛飾地域は軟弱野菜を中心とするそ菜栽培が主体であった。澱粉甘藷の退潮とともに台地東部にも落花生が栽培されるようになった。しかしこく数年、下総台地地域は、さといも、しょうが、すいか、キャベツ等を中心とする露地そ菜の栽培が急激に増加した。また市街化の影響によって、ハウスそ菜、ナシ園が台地西部から東部、もしくは地域外に移行しつつある。また、台地上に畠地灌漑施設の設置にともない、一時的に畠作水稻の作付が急激にのびたが、こく一二年、米の生産過剰のあおりをうけてほとんどなくなった。冬作は、大小麦がほとんどであったが、麦価の関係から一部のビール麦をのぞき急激に減少した。また夏作そ菜の風よけのためにうねおとして麦が栽培されるところもある。また、近郊地帯では、ほうれんそう、人参、ねぎ等の冬作そさいが栽培されるようになって来た。また近郊では住宅地周辺の畠ですで作り的な畠の面積も増大し、植木、花卉等労力をかけずに時間の経過を待つ畠地も増加している。

台地内に樹技状に侵入している谷部の面積もまた小さいものではなく、この地域面積の13%におよんでいる。栗山川、鹿島川、都川その他台地を開析し、九十九里、利根川、印旛沼、手賀沼、江戸川、東京湾に流入する小河川が沖積地を台地中につくりあげている。この沖積地はほとんどが水田として利用されているが、そのほとんどがグライ土、泥炭土、黒泥土の強湿田であるので裏作はほとんど行なわれず、水田の畠転換可能の地域もきわめて少ない。また都市近郊地帯は水田の埋め立てによる宅地化がすすんでいる。

この地帯西部の近郊地帯では宅地化、工場地化、道路の増加により、植物量が減少し、かつ、空気の汚染が進歩しつつある。これを防止又は軽減する意味での市街化地域の植物量の確保は、この地域の土地利用上の大きな問題点であろう。

2. 房総丘陵（上総丘陵、安房丘陵）

この丘陵地では褐色森林土壤のはば全域のはか、鹿野山塊、愛宕山塊頂部の黒ボク土壤および残積性未熟土壤が林地として利用されており、林地の占める割合が最も広く、千葉県における林業地帯である。

しかしこの地域には、丘陵北東部の長生、市原の区域、木更津の後背地、安房丘陵南部房総山脈の尾根部分などに、広く乾性褐色森林土壤や残積性未熟土壤の分布があるため、生産性の低い天然性広葉樹林の分布もまた広域にあり、県内全広葉樹林面積の約90%は、この丘陵地帯にある。

この広葉樹林帶は、従来は貴重な薪炭の資源であったが、近年はほとんど林業生産の場として利用されることもなく、放置されたまゝの姿にある。土壤の生産力からみれば、さらに生産性の高い針葉樹への改植を得策と考えられる部分もあるが、現在の広葉樹立木の適当な利用の途のないことや、農家稼動力の工場への吸収などが原因となって、林種転換への望みは薄い。また長生南部から養老川上流地域域にかけての地帯では、軟質砂岩の上に薄い土壤層が剥離しやすい状態で被覆している林地があり、ここでは、現状の天然性広葉樹林のままが、防災上は賢明であろうと思われる。

この丘陵地帯の人工林率33%の樹種別内訳は、スギ約53%，マツ類約38%，ヒノキ約5%である。スギ林の分布は、概ね、土壤図で示した湿性褐色森林土と褐色森林土壤(I)の位置にあり、他の樹種は褐色森林土壤(II)に主として造林されている。

即ち千葉県は、林地といえども甚だしい深山の不便地域ではなく、林道も割合に発達しているため、林地の管理は比較的集約で、人工造林の可能な林地は、適木を考慮して、かなりの程度の林種転換が進んでいるものとみることができる。

この丘陵地帯には農耕地の分布は少なく、茂原段丘、養老川段丘、小櫃川段丘、小糸川段丘、湊川段丘、夷隅川段丘、加茂川段丘、国分段丘、丸山段丘等の地域の河川沿いにあり、段丘底部の沖積地は水田として利用されている。この地域の水田は、河川縁辺部に乾田が多く、千葉県としては比較的多くの裏作そ菜が栽培されている。小櫃川沖積のレタス、平群川沖積(国分段丘地域)のいちご、加茂川沖積のいちご等は有名である。

また段丘部の麓もしくは傾斜面に畠地および県樹園が開かれている。国分段丘、丸山段丘、加茂川段丘のパセリ、ミカンの栽培は有名である。その外、畠地は段丘傾斜部および丘陵の麓にごく小面積ずつ分布しているがまとまった作物は生産されていない。

また富浦地区の丘陵の傾斜面にはビワ園が開かれている。これは気候的制約のため、霜道をさけて南部の傾斜面

へあがって栽培されているのである。

3. 低 地

低地は農耕地、住居地が多く、林地の面積は比較的少ない。飯岡から安房を経て木更津に至る浜沿いの砂丘未熟土壤は、主としてクロマツを植栽した砂防林である。九十九里低地のやや内陸部に分布する黒泥土と粗流褐色低地土壤とは、クロマツの人工造林地として利用されているが生産力は著しく低い。

低地中もっとも面積の大きいのは九十九里海岸平野である。この平野には海岸線に平行に最大10本の砂丘列がはしっており、この砂丘列の上は宅地、畠地として利用されており、この砂丘列間の低地およびこの平野に流入している河川流域には水田がひらけている。この地域の水田はほとんど水稻单作である。関東平野末端の低地できわめて水はけがわるい。また両総用水が出来あがった戦後までは天水依存地帯であり、水を確保するために田面の堀りさげ競争が行なわれた。この余土で形成されたのがいわゆる島畑であり、水田中に島状に畑が分布していたり、畑中に溝状に水田が出来ていたりするのがこの平野の特徴であった。近年基盤整備事業の進展とともにあってこの島畑が整理集中され、水田地帯と畠地帯が区分されつつある。

この地帯の畑は桑、甘藷、落花生等の栽培の歴史をへて来たが、気候条件のよい点、立地条件のよい点などからハウスを中心とするそ菜栽培がきわめてさかんである。

利根川、江戸川低地帯は湿田地帯であり、水稻单作水田地帯で畑はきわめて少ない。

市川一船橋低地および養老川三角州地帯は湿田の中に畑がわずかに分布するが、ほとんどが市街化されつゝある。市原市の一部にナシが栽培されている。

小櫃川三角州、小糸川三角州、館山平野は水田地帯の中に畑を混在しているが、河川沿いは乾田であるため裏作が行なわれている。小櫃川のレタス、館山のいちご、レタス、きゅうりなどが代表的なものである。水田転換可能地の比較的多い地帯である。

夷隅川低地、鴨川低地は前者より乾田率はやや低く、裏作はあまり行なわれていない。

千倉低地は水田中乾田率が比較的高く、きんせんか、そらまめなどが裏作として栽培されている。また水田の転換、もしくは畑にはストック、金魚草、カーネーションを中心とする簡易施設の花卉栽培がさかんに行なわれている。

三好 洋（農業試験場）

榎本 善夫（林業試験場）

4-2 土地利用可能性分級の地域別概要

土地利用可能性等級は標高、傾斜、土壤生産力可能性等級によってきめられる。千葉県においては標高400m以上の面積が無視し得るくらい小さいので、傾斜と土壤生産力可能性等級によってのみ決定される。千葉県全体からみると県北部は2類地が多く、県南部は3、4類地が多い。また畠地、住居地は2類地が多く、水田は3類地が多く、林地は3、4類地が多い。

1. 下総台地

台地上は土壤生産力可能性等級がP₂の黒ボク土壤を中心としており、そのほとんどが土壤生産力可能性等級はP₂である。また平坦地であり傾斜もほとんどがS₁～S₂であり、土地利用可能性等級は、ほとんどが2類地である。その内容は1.1.2もしくは1.2.2である。

台地内に樹枝状に侵食しているやつ田の土壤生産力可能性等級は大部分がP₄の黒ボクグライ土壤および黒泥、泥炭土壤でP₃の粗粒グライ土壤、P₂のグライ土壤も若干分布する。水田はほとんど傾斜がないのでその土地利用可能性等級は1.1.4の4類地が大部分であり、1.1.3の3類地、1.1.2の2類地が若干分布する。

また台地面から水田におちこむ急傾斜はそのほとんどが林地であり、土壤生産力可能性等級はP₂の淡色黒ボク土壤が多いが傾斜が急でそのほとんどが1.3.2の3類地である。

2. 上総丘陵

丘陵上は土壤生産力可能性等級の面からみると黒ボク土、褐色森林土などP₂のものが大部分で、一部P₁の褐色森林土壤①および湿性褐色森林土壤P₃の乾性褐色森林土が分布する。また尾根すじに残積性未熟土壤のP₅のものが分布する。傾斜は袖ヶ浦地区がS₁、その他の北部がS₃、南部がS₃～S₄である。このため土地利用可能性等級は袖ヶ浦が2類地(1.1.2, 1.2.2)その他の北部は3類地(1.3.2)が大部分になっている。南部は3類地(1.3.1, 1.3.2, 1.3.3)と4類地(1.4.1, 1.4.2, 1.4.3)が相なかばしている。

丘陵間を開析して出来た水田土壤は、土壤生産力可能性等級P₁の灰色低地土壤がP₂のグライ土の中に分布している。このため土地利用可能性等級は2類地(1.1.2)が多く、1類地(1.1.1)が若干分布している。

3. 安房丘陵

安房丘陵は上総丘陵南部と近似した状態であるが、清澄山塊附近は傾斜度大きく、ほとんどが4類地(1.4.1),

1.42, 1.43)である。加茂川段丘以南は3類地と4類地が相なかばしている。

丘陵間を開析している沖積地帯は河川近くは灰色低地土の土壤生産力可能性等級 P_1 の土壤が分布し、土地利用可能性等級は1類地(1.11)が分布するが、それ以外の冲積地はほとんど2類地(1.12)である。

4. 低 地

九十九里平野は海岸線にそって砂丘未熟土が分布し、土壤生産力可能性等級は P_4 、土地利用可能性等級は4類地(1.14)である。畑、および内部の林地は粗粒褐色低地土壤がほとんどで、平坦地であり、土壤生産力可能性等級は P_2 、土地利用可能性等級は2類地(1.12)がほとんどである。水田の中、粗粒灰色低地土壤は、土壤生産力可能性等級 P_3 で、土地利用可能性等級2類地(1.13)であり、グライ土は土壤生産力可能性等級 P_2 、土地利用可能性等級2類地(1.12)であり、低位泥炭、黒泥土壤は土壤生産力可能性等級 P_4 、土地利用可能性等級4類地(1.14)の順に面積が大きい。

利根川、江戸川低地は、グライ土 P_2 、粗粒グライ土壤 P_3 、黒泥、泥炭土壤 P_4 の順の面積に分布し、土地利用可能性分級はそれぞれ2類地(1.12)、3類地(1.13)、4類地(1.14)にあたる。

市川一船橋低地はほとんど住居地化される予定である。

その他養老川、小櫃川、小糸川、湊川、夷隅川、鴨川、館山の三角州、低地、平野はほとんどが水田であり、河川沿いは灰色低地土 P_1 、1類地(1.11)が分布している。その他の大部分は P_2 、2類地(1.12)のグライ土である。また一部南部海岸には砂丘未熟土壤 P_4 、4類地(1.14)が分布している。

三好洋（農業試験場）

B. 統 計 の 部

市区 市 町 村	農地											草地				
	田			畠園地						農 地 計	利用草地			未利用草地		草地 計
	普通田	特殊田	計	普通草畠	牧草畠	果樹園	桑その他園他	計	永年牧草地	自然草地	計	未利用草地	未利用草地	草地		
	田	畠	計	畠	畠	園	他	計	地	草地	草地	計	草地	草地	草地	計
山武郡	8,453	1	8,454	6,849	19	299	138	437	7,305	15,759	—	—	—	—	—	—
大網白里町	1,991	1	1,992	1,186	4	44	62	106	1,296	3,288	—	—	—	—	—	—
九十九里町	739	—	739	569	2	10	8	18	589	1,328	—	—	—	—	—	—
成東町	1,743	—	1,743	1,000	2	24	15	39	1,041	2,784	—	—	—	—	—	—
蓮沼町	340	—	340	264	1	2	1	3	268	608	—	—	—	—	—	—
松尾町	1,033	—	1,033	691	5	30	17	47	743	1,776	—	—	—	—	—	—
山武町	634	—	634	1,291	1	115	13	128	1,420	2,954	—	—	—	—	—	—
横芝山町	1,117	—	1,117	680	2	37	8	45	727	1,844	—	—	—	—	—	—
856	—	856	1,168	2	37	14	51	1,221	2,077	—	—	—	—	—	—	—
東葛飾郡	1,579	11	1,590	2,435	28	243	20	263	2,726	4,316	16	16	58	74	—	—
浦安町	178	10	188	6	—	—	1	1	7	195	—	—	—	—	—	—
鎌ヶ谷町	149	1	150	641	5	187	—	187	833	983	1	1	22	23	—	—
関宿町	468	—	468	1,016	23	15	17	32	1,071	1,539	14	14	4	18	—	—
沼南町	784	—	784	772	0	41	2	43	815	1,599	1	1	32	33	—	—
印旛郡	5,445	9	5,454	11,081	56	561	145	706	11,843	17,297	143	143	216	359	—	—
四街道町	415	—	415	943	18	42	2	44	1,005	1,420	—	—	38	38	—	—
酒々井町	368	—	368	392	—	12	1	13	405	773	—	—	2	2	—	—
八街町	274	—	274	4,045	18	69	82	151	4,214	4,488	10	10	20	30	—	—
富印町	380	—	380	2,683	16	121	50	171	2,870	3,250	116	116	68	202	—	—
921	—	921	644	—	32	3	35	679	1,600	—	—	19	19	19	19	—
白井町	421	—	421	631	4	188	0	188	823	1,244	—	—	8	8	—	—
印西町	1,001	—	1,001	841	—	65	5	70	911	1,912	5	5	17	22	—	—
本塙町	687	2	689	384	—	15	0	15	399	1,088	12	12	10	22	—	—
978	7	985	518	—	17	2	19	537	1,522	—	—	16	16	16	16	—
香取郡	11,152	6	11,158	7,809	76	458	202	660	8,545	19,703	36	36	145	181	—	—
下神町	852	3	855	348	4	29	3	32	384	1,239	9	9	7	16	—	—
総崎町	687	—	687	199	2	14	7	21	222	909	—	—	15	15	—	—
大小川町	795	—	795	1,553	20	85	35	120	1,693	2,488	—	—	6	6	—	—
見田町	2365	1	2366	727	2	49	9	58	787	3,153	—	—	4	4	—	—
1,309	—	1,309	1,128	10	49	28	77	1,215	2,524	11	11	28	39	—	—	
栗原町	362	—	362	1,057	5	67	30	97	1,159	1,521	16	16	71	87	—	—
多古町	1,887	—	1,887	1,316	30	97	72	169	1,515	3,402	—	—	9	9	—	—
千鶴庄町	1,490	2	1,492	605	1	18	3	21	627	2,119	—	—	2	2	—	—
1,405	—	1,405	876	2	50	15	65	943	2,348	—	—	3	3	—	—	
海上郡	1,351	—	1,351	1,163	—	20	3	23	1,186	2,537	—	—	—	—	—	—
海上町	992	—	992	639	—	12	2	14	653	1,645	—	—	—	—	—	—
飯岡町	359	—	359	524	0	8	1	9	533	892	—	—	—	—	—	—
匝瑳郡	1,972	—	1,972	1,252	2	20	11	31	1,285	3,257	—	—	—	—	—	—
光野町	1,272	—	1,272	655	1	12	8	20	676	1,948	—	—	—	—	—	—
栄町	700	—	700	597	1	8	3	11	609	1,309	—	—	—	—	—	—
郷部計	56,724	68	56,792	41,236	501	3,130	721	3,851	45,588	102,380	2,186	2,186	2,548	4,734	—	—
県計	102,885	294	103,179	77,337	964	5,593	1,157	6,750	85,051	188,230	4,082	4,082	4,153	8,235	—	—

単位 ha

林地											宅地	公共用地 その他	合計			
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地	林 地						
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 (竹) 葉 樹	広 葉 樹	計	採利い 草用の 放牧し土 にて地	そ の 他	計								
6,466	583	7,049 (168)	—	72	240	—	227	227	1	7,517	1,664	5,214	30,154			
835	2	837 (32)	—	71	103	—	21	21	—	961	389	1,202	5,840			
141	—	141 (3)	—	1	40	—	17	17	—	162	224	567	2,281			
748	25	773 (11)	—	—	11	—	18	18	—	802	314	654	4,554			
106	3	109 (2)	—	—	2	—	4	4	—	115	67	125	915			
962	123	1,085 (18)	—	—	18	—	52	52	—	1,155	166	658	3,755			
2,024	236	2260 (61)	—	—	61	—	66	66	—	2,387	150	508	5,099			
699	34	733 (16)	—	—	16	—	4	4	1	754	222	513	3,333			
951	160	1,111 (25)	—	—	25	—	45	45	—	1,181	132	987	4,377			
1,399	165	1,564 (124)	—	124	—	—	5	5	—	1,693	694	3,193	9,970			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	125	357	677			
373	39	412 (32)	—	—	32	—	5	5	—	—	449	217	381	2,053		
124	26	150 (42)	—	—	42	—	—	—	—	—	192	171	1,072	2,992		
902	100	1,002 (50)	—	—	50	—	—	—	—	—	1,052	181	1,383	4,248		
8,025	111	8,136 (457)	—	711	1,168	—	34	34	—	9,338	1,588	9,050	37,632			
1,135	4	1,139 (81)	—	97	178	—	—	—	—	—	1,317	379	452	3,606		
596	—	596 (24)	—	31	55	—	7	7	—	—	658	86	404	1,923		
999	25	1,024 (32)	—	165	197	—	9	9	—	—	1,230	322	1,479	7,549		
945	36	981 (52)	—	128	180	—	14	14	—	—	1,175	132	595	5,354		
1,192	4	1,196 (85)	—	93	178	—	1	1	—	—	1,375	120	1,544	4,658		
973	22	995 (37)	—	30	67	—	—	—	—	—	1,062	138	1,067	3,519		
1,379	19	1,398 (73)	—	117	190	—	1	1	—	—	1,589	181	1,599	5,303		
417	1	418 (29)	—	37	66	—	—	—	—	—	484	77	612	2,283		
389	—	389 (44)	—	13	57	—	2	2	—	—	448	153	1,298	3,437		
7,401	1,469	8,870 (203)	—	203	—	—	—	—	—	9,073	1,485	9,001	39,443			
766	206	972 (58)	—	—	58	—	—	—	—	—	1,030	95	798	3,178		
404	53	457 (17)	—	—	17	—	—	—	—	—	474	69	482	1,949		
943	472	1,415 (21)	—	—	21	—	—	—	—	—	1,436	154	918	5,002		
1,016	69	1,085 (11)	—	—	11	—	—	—	—	—	1,096	306	1,620	6,179		
1,324	136	1,460 (24)	—	—	24	—	—	—	—	—	1,484	199	930	5,176		
771	220	991 (4)	—	—	4	—	—	—	—	—	995	80	213	2,896		
1,484	181	1,665 (45)	—	—	45	—	—	—	—	—	1,710	243	1,903	7,267		
246	43	289 (11)	—	—	11	—	—	—	—	—	300	135	708	3,264		
447	89	536 (12)	—	—	12	—	—	—	—	—	548	204	1,429	4,532		
944	27	971 (6)	—	—	6	—	36	36	1	—	1,014	270	1,014	4,835		
528	14	542 (4)	—	—	4	—	14	14	1	—	561	135	609	2,950		
416	13	429 (2)	—	—	2	—	22	22	—	—	453	135	405	1,885		
495	22	517 (13)	—	13	—	63	63	3	—	—	596	305	1,220	5,378		
409	21	430 (12)	—	12	—	36	36	—	478	—	187	727	3,340	2,038		
86	1	87 (1)	—	1	—	27	27	3	—	118	118	493	—	—		
56,862	5,013	61,875 (4,464)	—	41,226	46,312	1,758	1,139	2,897	121	111,205	11,743	50,649	280,711	—		
97,484	7,240	104,724 (7,943)	—	61,376	70,053	2,404	2,410	4,814	184	179,775	33,564	98,071	507,875	—		

1-2 D.I.D おおむね 10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

単位 ha

区 分 市	市街地の内訳								市街地外の内訳						合 計
	商 業 区	工業区			住 宅 地 区	その他の 漁業 運輸 公共 計			市 街 地 計	農	草	林	宅	公そ 共の 用 地他	
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区		地	地	地	地	地	
千葉市	457	441	1,443	—		269	2,610		8,573	158	6,594	983	5,889	22,197	24,807
市川市	94	138	1,035	—		263	1,530		2,288	7	262	99	1,190	3,846	5,376
船橋市	141	44	1,165	—		180	1,530		2,971	40	1,290	957	1,390	6,648	8,178
松戸市	115	69	830	—		86	1,100		2,824	39	716	192	1,249	5,020	6,120
合 計	807	692	4,473	—		798	6,770		16,656	244	8,862	2,231	9,718	37,711	44,481

2. 自然的 土地 条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

単位 ha

傾斜区分 市町村	0° ~ 3°	3° ~ 8°	8° ~ 15°	15° ~ 20°	20° ~ 30°	30° ~ 40°	40° ~	合 計	備 考
千葉市 銚子市 市川市 市船橋 市館山市	11,315 4,066 4,404 5,292 5,080	11,512 1,832 972 — 167	1,980 2,312 — — 2,952	— — — — 2,172	264 — — — 606	— — — — —	— — — — —	24,807 8,474 5,376 8,178 10,977	
木更津市 松戸市 野田市 佐原市 戊辰原市	4,984 4,400 4,856 7,564 4,052	619 1,720 2,529 4,484 —	3,604 — — — 2,488	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	9,207 6,120 7,385 12,048 6,540	
成田市 佐倉市 東金市 旭市 八日市場市	6,764 4,320 6,020 5,045 5,052	6,286 5,918 2,022 — 2,976	— — 956 — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	13,050 10,238 8,998 5,045 8,028	
習志野市 柏原市 勝浦市 市原市 流山市	1,190 3,416 384 16,284 2,408	327 3,887 557 5,496 1,122	— — — 3,052 —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	1,517 7,301 9,489 36,660 3,530	
八千代市 我孫子市 鴨川市	3,040 2,642 2,098	2,067 1,765 1,557	— — 3,777	— — 2,554	— — 4,696	— — —	— — —	5,607 4,407 14,682	
市 部 計	114,676	57,971	37,361	11,030	6,126	—	—	227,164	
安房郡	5,573	2,868	6,466	7,322	9,604	48	—	31,881	
富浦町 富山村 鋸南芳村 白浜町	228 465 532 756 548	232 299 472 404 104	272 956 272 888 184	692 1,020 1,132 450 496	1,128 1,213 2,084 920 363	— 48	— — — — —	2,552 4,001 4,492 3,418 1,695	
千倉町 丸山町 和田町 天津小湊町	892 1,076 692 384	280 837 48 192	1,568 876 402 1,048	488 440 852 1,752	388 1,212 1,232 1,064	— — — —	— — — —	3,616 4,441 3,226 4,440	
夷隅郡	4,704	2,727	18,065	3,824	2,100	—	—	31,420	
大多喜町 夷隅町 御宿町 大岬町	1,859 1,136 172 1,548 1,848	5,936 2,379 124 4,961 2,669	3,188 500 88 48	2,100 — — —	— — — —	— — — —	— — — —	13,083 4,447 2,504 6,701 4,685	
君津郡	15,328	8,031	21,217	10,068	9,087	80	—	63,811	
袖ヶ浦町 平川町 富来町 君津町 富津町 大佐和町	3,232 2,592 876 4,960 1,816 1,316	762 1,200 189 3,436 — —	— 872 2,920 11,536 206 2,039	120 — 160 7,552 — —	— — — 3,641 — —	— — — — — —	— — — — — —	4,114 4,664 4,145 31,125 2,022 3,355	
天羽町	536	2,444	3,644	2,516	5,166	80	—	14,386	
長生郡	13,213	—	12,914	60	—	—	—	26,187	
一宮町 睦生町 白子町 本能町	1,472 1,220 2,878 2,703 2,232	— — — — —	893 2,264 — — 1,207	— 60 — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	2,365 3,544 2,878 2,703 3,439	
長柄町 長南町	1,432 1,276	— —	3,272 5,278	— —	— —	— —	— —	4,704 6,554	
山武郡	20,148	7,962	2,044	—	—	—	—	30,154	
大網白里町 九十九里町	4,184 2,281	— —	1,656 —	— —	— —	— —	— —	5,840 2,281	

単位 ha

市町村	傾斜区分	0° ~ 3°	3° ~ 8°	8° ~ 15°	15° ~ 20°	20° ~ 30°	30° ~ 40°	40° ~	合 計	備 考
成 東 町	4,016	490	48	—	—	—	—	—	4,554	
連 沼 町	915	—	—	—	—	—	—	—	915	
松 尾 町	2,448	999	308	—	—	—	—	—	3,755	
山 武 町	1,484	3,615	—	—	—	—	—	—	5,099	
横 芝 町	2,476	825	32	—	—	—	—	—	3,333	
芝 山 町	2,344	2,033	—	—	—	—	—	—	4,377	
東 葛 飾 郡	7,165	2,805	—	—	—	—	—	—	9,970	
浦 安 町	677	—	—	—	—	—	—	—	677	
鎌ヶ谷 町	1,280	773	—	—	—	—	—	—	2,053	
関 宿 町	2,952	40	—	—	—	—	—	—	2,992	
沼 南 町	2,256	1,992	—	—	—	—	—	—	4,248	
印 府 郡	22,840	14,736	56	—	—	—	—	—	37,632	
四 街 町	1,604	2,002	—	—	—	—	—	—	3,606	
酒 夕 井 町	708	1,215	—	—	—	—	—	—	1,923	
八 街 町	4,960	2,533	56	—	—	—	—	—	7,549	
富 里 村	3,800	1,554	—	—	—	—	—	—	5,354	
印 瓢 村	2,608	2,050	—	—	—	—	—	—	4,658	
白 井 町	2,084	1,435	—	—	—	—	—	—	3,519	
印 西 町	2,996	2,307	—	—	—	—	—	—	5,303	
本 垦 村	1,568	715	—	—	—	—	—	—	2,283	
荣 町	2,512	925	—	—	—	—	—	—	3,437	
香 斧 郡	22,483	13,664	3,112	—	184	—	—	—	39,443	
下 神 町	1,692	1,486	—	—	—	—	—	—	3,178	
大 荒 町	1,144	805	—	—	—	—	—	—	1,949	
小 見 川 町	2,768	2,234	—	—	—	—	—	—	5,002	
山 田 町	4,103	1,044	1,032	—	—	—	—	—	6,179	
栗 源 町	1,336	1,560	—	—	—	—	—	—	2,896	
多 古 町	3,568	3,699	—	—	—	—	—	—	7,267	
千 滝 庄 町	2,288	184	792	—	—	—	—	—	3,264	
東 庄 町	3,360	—	988	—	184	—	—	—	4,532	
海 上 郡	3,831	—	744	—	260	—	—	—	4,835	
海 上 町	2,494	—	300	—	156	—	—	—	2,950	
饭 岡 町	1,337	—	444	—	104	—	—	—	1,885	
匝 疙 郡	4,906	472	—	—	—	—	—	—	5,378	
光 野 采 町	2,868	472	—	—	—	—	—	—	3,340	
采 町	2,038	—	—	—	—	—	—	—	2,038	
郡 部 計	120,191	53,265	64,618	21,274	21,235	128	—	—	280,711	
県 計	234,867	111,236	101,979	32,304	27,361	128	—	—	507,875	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村	山 地・火 山 地					丘 陵 地			台 地			
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	口 一 ム 台 地			
									上 位	中 位	下 位	計
千葉市 銚子市 市川市 船橋市 館山市	—	—	—	—	—	—	4,900	4,900	3,875	6,525	2,452	12,852
木更津市 松戸市 野田市 佐原市 茂原市	—	—	—	—	—	68	3,800	3,868	—	212	212	424
成田市 東金市 旭川市 八日市場市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,00	876	1,276
習志野市 柏原市 勝浦市 流山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,692	2,272	4,964
八千代市 我孫子市 鴨川市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市 部 計	—	—	8,392	—	8,392	20,543	39,828	60,371	13,958	28,947	22,695	65,600
安房郡	—	—	8,986	—	8,986	9,837	5,112	14,949	—	—	—	—
富山市 南砺市 白瀬町	—	—	—	—	—	1,240	608	1,848	—	—	—	—
丸山町 和田町 天津小湊町	—	—	—	—	—	1,556	1,116	444	—	—	—	—
夷隅郡	—	—	—	—	—	2,121	2,121	411	—	—	—	—
多喜町 夷隅町 御宿町 大岬町	—	—	—	—	—	1,132	1,132	676	—	—	—	—
君津郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
袖ヶ浦町 平富町 君富津町	—	—	—	—	—	1,548	1,548	11,504	11,921	23,425	—	—
佐和町 羽佐町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長生郡	—	—	—	—	—	1,548	1,548	10,000	592	10,592	—	—
一睦町 長生子町 白本納	—	—	—	—	—	—	—	212	2,825	3,037	—	—
長柄町 南町	—	—	—	—	—	—	—	320	2,032	2,352	—	—
一睦町 長生子町 白本納	—	—	—	—	—	—	—	972	4,068	5,040	—	—
長柄町 南町	—	—	—	—	—	—	—	—	2,404	2,404	—	—
一睦町 長生子町 白本納	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長柄町 南町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

单位 ha

段丘		低地								合计	備考
岩石台地 (海岸段丘)	計	扇状地性	三角州性	自然堤砂州	埋立地	干拓地	砂質裸地	岩石質裸地	計		
—	1,2,852	—	5,043	1,60	1,852	—	—	—	7,055	2,4807	
—	424	—	3,720	—	284	—	40	96	4,140	8,474	
—	1,276	—	3,572	316	212	—	—	—	4,100	5,376	
—	4,964	—	3,010	—	204	—	—	—	3,214	8,178	
2,786	2,786	—	1,418	578	—	—	346	132	2,474	10,977	
1,084	1,084	—	3,739	—	516	—	—	—	4,255	9,207	
—	3,536	—	2,584	—	—	—	—	—	2,584	6,120	
—	4,584	—	2,801	—	—	—	—	—	2,801	7,385	
—	4,628	—	7,420	—	—	—	—	—	7,420	12,048	
1,484	1,484	—	1,176	1,180	—	—	—	—	2,356	6,540	
—	7,979	—	5,071	—	—	—	—	—	5,071	13,050	
—	6,248	—	3,862	—	—	128	—	—	3,990	10,238	
—	—	—	4,621	1,352	—	—	—	—	5,973	8,998	
—	—	—	1,901	1,660	—	1,292	192	—	5,045	5,045	
—	3,040	—	3,420	692	—	796	80	—	4,988	8,028	
—	941	—	256	—	320	—	—	—	576	1,517	
—	4,512	—	2,789	—	—	—	—	—	2,789	7,301	
317	317	—	—	36	—	—	40	—	76	9,489	
3,972	7,200	—	4,465	352	1,836	—	—	—	6,653	36,660	
—	1,692	—	1,838	—	—	—	—	—	1,838	3,530	
—	3,816	—	1,291	—	—	—	—	—	1,291	5,107	
—	1,880	—	2,527	—	—	—	—	—	2,527	4,407	
1,201	1,201	—	420	102	—	—	88	131	741	14,682	
1,0844	7,6444	—	6,6944	6,428	5,224	2,216	786	359	81,957	227,164	
5,102	5,102	—	1,292	455	—	—	488	609	2,844	31,881	
188	188	—	396	—	—	—	60	60	516	2,552	
685	685	—	116	—	—	—	84	—	200	4,001	
555	555	—	312	24	—	—	52	153	541	4,492	
1,079	1,079	—	4	23	—	—	—	—	27	3,418	
348	348	—	—	—	—	—	44	168	212	1,695	
444	444	—	228	108	—	—	52	136	524	3,616	
1,305	1,305	—	140	80	—	—	68	—	288	4,441	
140	140	—	96	220	—	—	128	28	472	3,226	
358	358	—	400	44	—	—	88	16	548	4,440	
3,606	3,606	—	2,437	204	—	—	200	—	2,841	31,420	
943	943	—	—	—	—	—	—	—	—	13,083	
1,410	1,410	—	—	—	—	—	—	—	—	4,447	
88	88	—	—	20	—	—	44	—	64	2,504	
665	665	—	804	128	—	—	64	—	996	6,701	
500	500	—	1,633	56	—	—	92	—	1,781	4,685	
10,679	11,943	—	3,640	409	768	—	316	218	5,351	63,811	
704	1,968	—	1,350	—	248	—	—	—	1,598	4,114	
1,714	1,714	—	—	—	—	—	—	—	—	4,664	
345	345	—	—	—	—	—	—	—	—	4,145	
4,695	4,695	—	360	—	520	—	—	—	880	31,125	
15	15	—	1,403	340	—	—	112	—	1,855	2,022	
987	987	—	394	43	—	—	148	—	585	3,355	
2,219	2,219	—	133	26	—	—	56	218	433	14,386	
2,002	2,002	—	6,738	2,478	—	—	577	—	9,793	26,187	
—	—	—	1,169	104	—	—	220	—	1,493	2,365	
460	460	—	652	—	—	—	—	—	652	3,544	
—	—	—	2,134	591	—	—	153	—	2,878	2,878	
—	—	—	2,016	483	—	—	204	—	2,703	2,703	
96	96	—	767	1,300	—	—	—	—	2,067	3,439	
404	404	—	—	—	—	—	—	—	—	4,704	
1,042	1,042	—	—	—	—	—	—	—	—	6,554	

地形区分 市町村	山 地 • 火 山 地					丘 陵 地			台 地 •				
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計	□ — △ 台 地				
									上 位	中 位	下 位	計	
山武郡	—	—	—	—	—	—	2,420	2,420	11,105	552	—	11,657	
大網白里町	—	—	—	—	—	—	1,780	1,780	—	—	—	—	
九十九里町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
成東沼尾町	—	—	—	—	—	—	244	244	2,626	—	—	2,626	
蓮松町	—	—	—	—	—	—	—	—	1,540	—	—	1,540	
山武芝町	—	—	—	—	—	—	369	369	3,650	—	—	3,650	
横芝山町	—	—	—	—	—	—	—	—	452	432	—	884	
							—	—	2,837	120	—	2,957	
東葛飾郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,877	1,752	4,629	
浦安町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
鎌ヶ谷町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,677	80	1,757	
館宿町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	32	
沼南町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,200	1,640	2,840	
印旛郡	—	—	—	—	—	—	2,096	2,096	9,136	9,696	4,596	23,428	
四街道町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,484	160	2,644	
酒井町	—	—	—	—	—	—	—	—	112	852	—	964	
八富町	—	—	—	—	—	—	2,096	2,096	4,676	64	—	4,740	
印旛町	—	—	—	—	—	—	—	—	4,348	348	—	4,696	
白井町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,284	1,196	2,480	
印旛木榮町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	756	
							—	—	—	—	—	756	
香取郡	—	—	—	—	—	—	2,980	2,980	10,742	8,089	—	18,831	
下神田町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92	1,372	—	1,464
総崎町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	857	—	857	
米川町	—	—	—	—	—	—	—	—	3,538	220	—	3,758	
見田町	—	—	—	—	—	—	608	608	1,340	212	—	1,552	
小山町	—	—	—	—	—	—	—	—	580	2,920	—	3,500	
栗源町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,360	1,140	—	2,500
多古町	—	—	—	—	—	—	—	—	2,884	1,368	—	4,252	
千東庄	—	—	—	—	—	—	300	300	948	—	—	948	
							—	—	—	—	—	—	
海上郡	—	—	—	—	—	—	2,289	2,289	—	—	—	—	
海上岡町	—	—	—	—	—	—	1,372	1,372	—	—	—	—	
							917	917	—	—	—	—	
匝瑳郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	412	—	412	
光野栄町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	412	—	412	
都部計	—	—	28,092	—	28,092	38,896	52,614	91,510	31,739	22,134	6,348	60,221	
計 計	—	—	36,484	—	36,484	59,439	92,442	151,881	45,097	51,081	29,043	125,821	

単位 ha

段丘		低地								合計	備考
岩石台地 (海岸段丘)	計	扇状地性	三角州性	自然防砂州	埋立地	干拓地	砂質裸地	岩石質裸地	計		
—	11,657	—	10,260	5,212	—	—	605	—	16,077	30,154	
—	—	—	2,064	1,908	—	—	88	—	4,060	5,840	
—	—	—	1,388	689	—	—	204	—	2,281	2,281	
—	—	—	552	979	—	—	153	—	10,84	4,554	
—	—	—	215	604	—	—	96	—	915	915	
—	1,540	—	1,755	460	—	—	—	—	2,215	3,755	
—	3,650	—	1,053	—	—	—	—	—	1,053	5,099	
—	884	—	1,813	572	—	—	64	—	2,449	3,333	
—	2,957	—	1,420	—	—	—	—	—	1,420	4,377	
—	4,629	—	4,681	—	660	—	—	—	5,341	9,970	
—	—	—	17	—	660	—	—	—	677	677	
—	1,757	—	296	—	—	—	—	—	296	2,053	
—	32	—	2,960	—	—	—	—	—	2,960	2,992	
—	2,840	—	1,408	—	—	—	—	—	1,408	4,248	
—	23,428	—	11,920	—	—	188	—	—	12,108	37,632	
—	2,644	—	962	—	—	—	—	—	962	3,606	
—	964	—	959	—	—	—	—	—	959	1,923	
—	4,740	—	713	—	—	—	—	—	713	7,549	
—	4,696	—	658	—	—	—	—	—	658	5,554	
—	2,480	—	1,990	—	—	188	—	—	2,178	4,658	
—	2,696	—	823	—	—	—	—	—	823	3,519	
—	3,592	—	1,711	—	—	—	—	—	1,711	5,303	
—	860	—	1,423	—	—	—	—	—	1,423	2,283	
—	756	—	2,681	—	—	—	—	—	2,681	3,437	
—	18,831	—	16,024	—	—	1,608	—	—	17,632	39,443	
—	1,464	—	1,714	—	—	—	—	—	1,714	3,178	
—	857	—	1,092	—	—	—	—	—	1,092	1,949	
—	3,758	—	1,244	—	—	—	—	—	1,244	5,002	
—	1,552	—	4,019	—	—	—	—	—	4,019	6,179	
—	3,500	—	1,676	—	—	—	—	—	1,676	5,176	
+	2,500	—	396	—	—	—	—	—	396	2,896	
—	4,252	—	3,015	—	—	—	—	—	3,015	7,267	
—	948	—	540	—	—	1,476	—	—	2,016	3,264	
—	—	—	2,328	—	—	132	—	—	2,460	4,532	
—	—	—	810	412	—	1,240	84	—	2,546	4,835	
—	—	—	206	132	—	1,240	—	—	1,578	2,950	
—	—	—	604	280	—	—	84	—	968	1,885	
—	412	—	2,550	2,128	—	—	288	—	4,966	5,378	
—	412	—	1,552	1,288	—	—	88	—	2,928	3,340	
—	—	—	998	840	—	—	200	—	2,038	2,038	
21,389	81,610	—	60,352	11,298	1,428	3,036	2,558	827	79,499	280,711	
32,233	158,054	—	127,296	17,726	6,652	5,252	3,344	1,186	161,456	507,875	

3. 土地利用可能性分級

3~1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

土地利用可能 性分級 市町村	単位 ha									
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備 考
千葉市	36	15,967	1,580	2,196	—	—	—	5,028	24,807	
市原市	—	1,920	3,066	672	—	—	—	2,816	8,474	
船橋市	—	3,088	—	300	—	—	—	1,988	5,376	
山本市	—	4,216	—	1,768	—	—	—	2,194	8,178	
千葉市	992	3,444	2,609	2,784	—	636	—	512	10,977	
木更津市	588	4,215	3,500	164	—	—	—	740	9,207	
松戸市	—	3,376	—	660	—	—	—	2,084	6,120	
野田市	156	6,553	—	20	—	—	—	656	7,385	
佐茂原市	72	7,436	3,340	176	—	—	—	1,024	12,048	
成田市	140	3,316	2,460	232	—	140	—	252	6,540	
佐倉市	—	9,714	1,156	828	—	—	—	1,352	13,050	
東金市	—	7,594	—	2,164	—	—	—	480	10,238	
旭川市	—	6,162	1,180	1,552	—	—	—	104	8,998	
八日市場市	—	3,391	1,150	384	—	—	—	120	5,045	
習志野市	124	4,308	2,652	860	—	—	—	84	8,028	
柏原市	—	236	—	34	—	—	—	1,247	1,517	
勝浦市	—	4,821	—	1,540	—	—	—	940	7,301	
市流山市	3006	12,592	13,745	3,398	—	368	—	80	9,489	
八千代市	—	3,568	—	1,391	—	—	—	148	5,107	
我孫子市	112	3,771	—	156	—	—	—	368	4,407	
鴨川市	786	2,161	3,756	7,423	—	556	—	—	14,682	
市部計	6,012	114,760	45,990	32,474	—	2,384	—	25,544	227,164	
安房郡	923	7,092	6,878	15,620	48	1,320	—	—	31,881	
富浦町	—	340	356	1,856	—	—	—	—	2,552	
山町村	—	917	984	2,052	48	—	—	—	4,001	
鋸南芳浜村	—	1,024	336	2,968	—	164	—	—	4,492	
三白浜村	511	1,239	364	1,304	—	—	—	—	3,418	
—	—	523	176	416	—	580	—	—	1,695	
千丸和田町	—	940	1,434	962	—	280	—	—	3,616	
和田町	300	1,193	1,076	1,872	—	—	—	—	4,441	
天津小湊町	112	600	664	1,826	—	24	—	—	3,226	
—	—	316	1,488	2,364	—	272	—	—	4,440	
夷隅郡	112	6,999	17,409	6,314	—	586	—	—	31,420	
大多喜町	—	1,475	5,840	5,618	—	150	—	—	13,083	
夷隅宿原町	—	1,406	2,581	460	—	—	—	—	4,447	
御大岬町	—	184	2,180	44	—	96	—	—	2,504	
—	—	1,913	4,444	104	—	240	—	—	6,701	
—	112	2,021	2,364	88	—	100	—	—	4,685	
君津郡	1,990	18,004	19,602	22,499	80	464	—	1,172	63,811	
袖ヶ浦町	64	3,358	—	100	—	—	—	592	4,114	
平川町	252	3,584	828	—	—	—	—	—	4,664	
富来田町	182	343	3,516	104	—	—	—	—	4,145	
君津津町	1,440	5,761	10,453	12,723	—	168	—	580	31,125	
富津津町	—	1,386	404	232	—	—	—	—	2,022	
大佐和町	36	1,368	1,735	216	—	—	—	—	3,355	
天羽町	16	2,204	2,666	9,124	80	296	—	—	14,386	
長生郡	1,984	7,445	14,310	1,608	—	840	—	—	26,187	
一宮町	—	869	1,027	441	—	28	—	—	2,365	
陸沢生子町	512	748	2,284	—	—	—	—	—	3,544	
白本納町	—	1,862	444	368	—	204	—	—	2,878	
—	—	972	1,327	404	—	—	—	—	2,703	
長柄町	148	1,295	1,593	395	—	8	—	—	3,439	
長南町	406	1,247	2,741	—	—	310	—	—	4,704	
—	918	452	4,894	—	—	290	—	—	6,554	

単位 ha

土地利用可能 性分級 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山武郡	144	20,428	7,180	2,330	—	—	—	72	30,154	
大網白里町	88	2,347	2,649	764	—	—	—	—	5,840	
九十九里町	—	1,137	912	232	—	—	—	—	2,281	
成東町	—	3,054	1,044	456	—	—	—	—	4,554	
蓮沼町	—	108	619	188	—	—	—	—	915	
松尾町	—	2,351	1,072	332	—	—	—	—	3,755	
山武町	—	5,099	—	—	—	—	—	—	5,099	
横芝町	64	2,111	884	274	—	—	—	—	3,333	
芝山町	—	4,221	—	84	—	—	—	72	4,377	
東葛飾郡	—	7,685	—	1,100	—	—	—	1,185	9,970	
浦安町	—	332	—	—	—	—	—	345	677	
鎌ヶ谷町	—	1,469	—	492	—	—	—	92	2,053	
閑宿町	—	2,668	—	—	—	—	—	324	2,992	
沼南町	—	3,216	—	608	—	—	—	424	4,248	
印旛郡	—	31,354	668	4,322	—	—	—	1,288	37,632	
四街道町	—	2,822	—	784	—	—	—	—	3,606	
酒々井町	—	1,511	76	336	—	—	—	—	1,923	
八富町	—	7,081	48	420	—	—	—	—	7,549	
印旛村	—	4,736	—	618	—	—	—	—	5,354	
富印旛村	—	3,566	280	172	—	—	—	640	4,658	
白井町	—	2,739	—	736	—	—	—	44	3,519	
印西町	—	4,715	—	484	—	—	—	104	5,303	
本塙町	—	1,819	48	352	—	—	—	64	2,283	
本栄町	—	2,365	216	420	—	—	—	436	3,437	
香取郡	172	30,247	5,552	1,748	—	—	—	1,724	39,443	
下総町	—	2,522	432	—	—	—	—	224	3,178	
神崎町	—	1,245	540	8	—	—	—	156	1,949	
大見川町	—	4,610	144	192	—	—	—	56	5,002	
小見川町	—	3,527	1,808	96	—	—	—	748	6,179	
山田町	—	4,168	536	472	—	—	—	—	5,176	
栗源町	—	2,676	92	128	—	—	—	—	2,896	
多古町	172	6,487	—	608	—	—	—	—	7,267	
千葉庄	—	2,568	696	—	—	—	—	—	3,264	
東湯庄	—	2,444	1,304	244	—	—	—	540	4,532	
海上郡	—	1,934	1,953	948	—	—	—	—	4,835	
海上町	—	1,670	808	472	—	—	—	—	2,950	
飯岡町	—	264	1,145	476	—	—	—	—	1,885	
匝差郡	524	1,060	2,902	892	—	—	—	—	5,378	
光野町	376	440	1,964	560	—	—	—	—	3,340	
米町	148	620	938	332	—	—	—	—	2,038	
都部計	5,849	132,248	76,454	57,381	128	3,210	—	5,441	280,711	
県計	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

単位 ha

土地利用可能 性分級 地形区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地・火山地	64	1,330	9,719	24,477	128	766	—	—	36,484	
丘陵地	1,256	30,432	82,135	34,501	—	3,477	—	80	151,881	
台地・段丘地	6,548	123,361	9,993	10,159	—	453	—	7,540	158,054	
低地	3,993	91,885	20,597	20,718	—	898	—	23,365	161,456	
合計	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

単位 ha

土地利用可能 性分級 傾斜区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0° ~ 3° (S ₁)	11,861	151,034	22,820	21,973	—	1,375	—	25,804	234,867	
3° ~ 8° (S ₂)		95,974	5,533	6,068	—	135	—	3,526	111,236	
8° ~ 15° (S ₃)			94,091	4,517	—	1,716	—	1,655	101,979	
15° ~ 30° (S ₄)				57,297	—	2,368	—	—	59,665	
30° ~ 40° (S ₅)					128	—	—	—	128	
40° ~ (S ₆)										
合計	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

単位 ha

土地利用可能 性分級 標高区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯(H ₁)	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	
合計	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	

(注) H₂~H₆は該当ない。

3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性等級区分との関連

単位 ha

土地利用可能 性分級 土壤生 産力可能 性等級 区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだ良い(P ₁)	11,861	4,847	15,040	1,758	—	—	—	—	33,506	
やや良い(P ₂)		242,161	60,195	21,658	—	—	—	—	324,014	
やや劣る(P ₃)			47,209	11,790	128	—	—	—	59,127	
劣る(P ₄)				54,649	—	—	—	—	54,649	
はなはだ劣る(P ₅)					5,594	—	—	—	5,594	
未区分						—	—	30,985	30,985	
合計	11,861	247,008	122,444	89,855	128	5,594	—	30,985	507,875	

土地利用可能性分級 地域の概要			1類地	2類地		3類地	4類地
	地域名	上総丘陵西部	下総台地東部 (上位面)	下総台地北西部 (下位面)	九十九里海岸平野	上総丘陵北部	清澄山山塊
地形	傾斜 (谷密度)	S ₁ (0°~3°) 7	S ₁ ~S ₂ (0°~8°) 9	S ₁ ~S ₂ (0°~8°) 2	S ₁ (0°~3°) 0	S ₁ ~S ₂ (0°~15°) 14	S ₃ ~S ₅ (8°~30°) 18
	標高 (植栽限界)	13~30m 平均 (25m)	30~40m (35m)	10~20m (15m)	0~10m (3m)	40~170m (120m)	150~340m (200m)
表層地質	岩石の種類 岩石のかたさ 時	沖積層 第四紀	ロームおよび砂 軟 第四紀	ロームおよび砂 軟 第四紀	ロームおよび砂 軟 第四紀	砂および泥 軟 第四紀	砂岩、泥岩、火山灰 や硬 第三紀
	農田	土壤統群生産力 可能性等級	細粒灰色低地土壤 I	グライ土壤 II	グライ土壤 II	粗粒グライ土壤 III	グライ土壤 II
土壤	畑	土壤統群生産力 可能性等級	-	黒ボク土壤 II	黒ボク土壤 II	粗粒褐色低地土壤 II	黒ボク土壤 II
	草地	土壤統群 生産力可能性等級	-	-	-	-	-
水利用	林地	土壤統群 地位 級	-	淡色黒ボク土壤 II	淡色黒ボク土壤 II	砂丘未熟土壤 IV	淡色黒ボク土壤 II
	地下水	表水 下水 雨水	○ ○ X	○ ○ X	○ ○ X	○ ○ X	○ ○ △
気候区分			表日本	表日本	表日本	表日本	表日本
面積	土地利用可能性類地別面積県内合計(A)	11,861	247,008	247,008	247,008	122,444	89,855
	当該地域の類地別面積県内合計(B)	3,490	46,500	26,000	30,700	13,800	19,800
	% (B/A)	29 %	19 %	11 %	12 %	11 %	22 %

5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	備考
鋸山山塊	館山南部丘陵群	—	市川, 船橋低地	
S ₄ ~S ₅ (15°~30°)	S ₅ (20°~30°)	—	S ₁ (0°~3°)	
50~330m (150m)	30~200m (100m)	—	0~5m (3m)	
火山碎屑岩, 凝灰質礫岩 やや硬 第三紀	砂岩, 泥岩 やや硬 第三紀	—	冲積層 第四紀	
—	—	—	—	
乾性褐色森林土壤 Ⅲ	—	—	—	
—	—	—	—	
乾性褐色森林土壤 Ⅲ	残積性未熟土壤 Ⅴ	—	—	
○ ○ △	○ ○ △	—	○ ○ X	○利用 △若干利用 ×利用しない
表日本	表日本	—	表日本	
128	5,594	—	30,985	単位 ha
80	1,350	—	3,200	
63 %	24 %	—	10 %	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況											備 考		
			水田		畑					草地		林地				
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量 収 率	普通畑		樹園地			土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ 穫 量 収 率	主 要 作 物 お よ び 平均収穫量率	主 要 平 量 均 樹 種 収 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率
千葉市	I	1-1.1	36	A	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	面積の単位 ha 平均収穫量率% 土地占有率 100~75% A 74~50 B 49~25 C 24~5 D 4%以下 空欄 以下各表とも同じ
		1-1.2														
	II	1-22	15,967	C	95	B 落花生 105 はうれんそう 100	ぶどう 110 果 140	—	D マツ 90	広100	—					
	III	1-32	15,80		90	C 落花生 95	—	—	D マツ 100	D 広100	—					
	IV	1-1.4	2,196	A	90	—	—	—	—	スギ 105	—					
	V		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	VI		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	VII		—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	VIII		5,028	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		24,807				—	—	—	—							

習志野市	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.2	280	—	A はうれんそう 100 にんじん 100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	1-14	40	A	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		1,480		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況											備 考	
			水田		畑				草地		林地				
	類別示 しよ性 区分する式	面積	土地占有率	平均収穫量	普通畑		樹園地		土地占有率	草おね收 地よ穫量 のび種類均 用率	人工林	天然林		土地占有率	
市原市	I	1-1.1	3,006	A 100	—	—	—	—	—	—	広110	—	—	—	
		1-1.2			落花生 95 さといも 100										
	II	1-2.1	12,592	C 95	D さといも 110 落花生 95 さといも 100		—	—	—	D マツ105 D 広110					
		1-2.2													
		1-1.3			落花生 95 さといも 100	—			—	D スギ 100 C 広100					
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	13,745	D 95											
		1-4.1			野菜(自家用)	—			—	D スギ 100 A 広100	—				
	IV	1-4.2	3,398	D 90											
		1-4.3													
	V			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-3.5 1-4.5	684	—	—	—	—	—	—	スギ 100 A 広100	—				
	VII														—
	VIII		3,235	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計			36,660												

八千代市	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.2	3,568	D 95	B 落花生 105 ほうれんそう 100	—	—	—	—	C マツ 110	—				
	III			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	1-1.4	1,391	A 95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	V			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII		148	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	計		5,107												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考
			水田		畑				草地		林地				
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 有 利 用 率	人工林		天然林		土 占 地 有 利 用 率
千葉地域 千葉市 習志野市 市原市 八千代市	I	1-1.1 3,042	A 95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	開発計画
		1-12			落花生 100										1. 繁取ニュータウン計画 (1) 該当市町村 千葉市 (2) 面積 約980ha
	II	1-2.1 32,407	C 95	B ほうれんそう 100					-		D マツ 100	-			
		1-22		さといも 105	ぶどう 110	く 140									2. 海浜ニュータウン計画 (1) 該当市町村 千葉市 (2) 面積 約1,210ha
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 15,325 1-3.3	90 95 90	D	落花生 100	-	-	-			マツ 100	A 広100			
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 7,025 1-4.3	90 95 90		野菜(自家用)	-	-	-			スギ 100	B 広100	-		
	V		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-1.5 1-3.5 1-4.5 684	-		-	-	-	-	-	-	-	スギ 100	A 広100	-	
	VII		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	9891	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		68,374													

館山市	I	1-1.1 992	A 95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		1-1.2													
	II	1-2.1 3,444	A 95	落花生 75 -				-			D マツ 100	広100			
		1-2.2													
	III	1-3.1 1-3.2 2,609 1-3.3	C 90	花野菜 100	びわ 90	混播 110		C	スギ 100	C 広100					
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 2,784 1-4.3	D 90	-			びわ 90	-			D マツ 80	A 広100	-		
	V		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-1.5 1-4.5 636	-	-	-	-	-	-	O	スギ 90	B 広30	-			
	VII		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	512	-										A		
計		10,977													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ 穫 收 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
鴨川市	I	1-1.1	786	A	105	—	—	—	—	D マツ 75	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.1 1-2.2	2,161	A	100	—	—	—	—	D マツ 75	D 広 110	—	—	
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	3,756	B	95	ストック100	温州110	混播105	D	スギ 110	D 広 110	—	—	
	IV	1-4.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	7,423	D	95	野菜(自家用)	温州110	混播110	C	スギ 100	C 広 110	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-2.5 1-3.5 1-4.5	556	—	—	—	—	—	B マツ 50	C 広 110	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		14,682											

富浦町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.2	340	A	90	—	—	—	—	D マツ 100	—	—	—	
	III	1-3.2	356	A	90	—	—	—	—	D マツ 100	D 広 70	—	—	
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	1,856	D	85	—	D ひわ 100	—	—	C スギ 95	C 広 70	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		2,552											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考
			水田		畠				草地		林地		
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利 用 率	平 穫 均 量	收 率	普 通 畠	樹 園 地	土 占 地有 利 用 率	草 地 の 収 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地有 利 用 率	
富山町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 1-2.2	917	A	85	—	—	—	—	—	—	—	—
	III	1-3.1 1-3.2	984	C	85	—	温州 115	—	D スギ 100	D 広 75	—	—	—
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	2052	D	85 80	—	温州 115	混播 90	C スギ 100	C 広 75	—	—	—
	V	1-5.3	48	—	—	—	C 温州 115	—	—	B 広 75	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		4001											

鋸南町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 1-2.2	1024	A	85	—	—	—	—	—	—	—	—
	III	1-3.1 1-3.2	336	—	—	—	—	—	C スギ 100	B 広 80	—	—	—
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	2968	B	85 90	—	温州 110	—	C スギ 100	D 広 80	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	1-1.5 1-4.5	164	—	—	—	—	—	—	—	A 広 50	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		4492											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 有 利 用 率	面 積	土 地 有 利 用 率	平 均 収 穫 率	普通畑		樹園地		土 地 有 利 用 率	草 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 地 有 利 用 率	
三芳村	I	1-1.1	511	A 95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	備考
		1-1.2												
	II	1-2.2	1,239	A 95	—	—	—	—	—	スギ 90	広 100	—	—	
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	364	C 90	—	D	温州 110	—	—	C スギ 90	D 広 100	—	—	
	IV	1-4.1 1-4.2 1-4.3	1,304	D 90	—	温州 110	—	—	—	C スギ 100	B 広 110	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		3,418												

白浜町	I	—	--	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.2	523	A 85	D	ストック 100	—	—	—	マツ 80	—	—	—	
	III	1-3.1 1-3.2	176	D 80	D	ストック 100	—	—	—	C マツ 80	C 広 80	—	—	
	IV	1-4.1 1-4.2 1-4.3	416	D 80	—	—	—	—	—	D マツ 80	A 広 80	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-4.5	580	—	D	野菜(自家用)	—	—	—	C マツ 60	D 広 30	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		1,695												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 合 示 地 よ さ 性 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普 通 畑	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び お よ び 平均取穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 木 び 収 穫 率	人 工 林	天 然 林	
千倉町	I	-	-		-	-		-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	940	A	90	-	-	-	-	D マツ 80	-	-	-
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	1,434	D	90	D 菊 100 きゅうり 100 しょうが 100	温州 100	-	C スギ 100	C 広 80	-	-	-
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	962	D	90	野菜(自家用)	温州 100	-	C スギ 100	C 広 80	-	-	-
	V	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	1-1.5 1-2.5 1-3.5 1-4.5	280	-		D 菊 100	-	-	A マツ 60	-	-	-	-
	VII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		3,616											

丸山町	I	1-1.1	300	A	100	-	-	-	マツ 100	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.1 1-2.2	1,193	A	95	D 花卉(枝物) 100 野菜(自家用)	-	-	D マツ 80	広 110	-	-	-
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	1,076	B	95	温州 95 パセリ 100	-	-	C スギ 100	D 広 110	-	-	-
	IV	1-4.1 1-4.2 1-4.3	1,872	D	95 90	温州 95 パセリ 100	-	混播 100	C スギ 100	C 広 110	-	-	-
	V	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		4,441											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畠				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普 通 畠	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平均 収穫 量	土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 収 地 よ 穫 量 の び 量 平 均 率	人 工 林	天 然 林		
			土 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平均 収穫 量	樹 木 収 穫 率	土 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平均 収穫 量	樹 木 収 穫 率	土 地 有 利 用 率	草 地 お 収 地 よ 穫 量 の び 量 平 均 率	人 工 林	天 然 林		
和田町	I	1-1.1	112	A	95	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2	600	A	90	-	-	-	-	D スギ 100	広 110	-	-	
	III	1-3.2 1-3.3	664	C	90	カーネーション 100	-	-	-	D スギ 100	C 広 110	-	-	
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	1,826	D	90 85	カーネーション 100	-	-	-	B スギ 100	D 広 110	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-1.5	24	-	-	-	-	-	-	A マツ 50	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		3,226												

天津小湊町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.1 1-2.2	316	A	90	-	-	-	-	マツ 75	広 110	-	-	
	III	1-1.3 1-3.2 1-3.3	1,488	D	90	-	-	-	-	B スギ 100	C 広 110	-	-	
	IV	1-4.1 1-4.2 1-4.3	2,364	D	90 85	D 野菜(自家用)	-	-	-	C スギ 100	C 広 110	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-1.5 1-4.5	272	-	-	-	-	-	-	A マツ 70	D 広 110	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		4,440												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 よ さ 性 分 び れ る 式	面 積	土 占 率	平 獲 率	普通畑		樹園地		土 占 率	草 お 收 地 よ り 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 率	
安房地域 館山市 鴨川市 富浦町 南芳村 三白浜町 千倉町 丸山町 和田町 天津小湊町	I	1-1.1 2,701	A	95	—		—		—		—		—	開発計画 1.ダム建設計画 (1)場所 濑高ダム、 袋倉ダム 2.内浦山県民の森建 設計画 (1)該当市町村 天津小湊町 (2)面積 176ha
	II	1-1.2 1-2.1 12,697 1-2.2	A	90	花卉 100		—		—		マツ 85 広 105		—	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 13,243 1-3.3	B	90	西洋野菜 100 花卉 100		温州 100 みかん びわ 100		混播 110		スギ 98 D 広 95		—	
	IV	1-1.4 1-4.1 25,827 1-4.2 1-4.3	D	85	野菜(自家用)		温州 100 みかん びわ 100		混播 90		C スギ 100 C 広 95		—	
	V	1-5.3 48	—	—	温州 C みかん 100		—		—		B 広 75		—	
	VI	1-1.5 1-2.5 1-3.5 1-4.5 2,512	—	—	—		—		—		A マツ 60 D 広 65		—	
	VII	—	—	—	—		—		—		—		—	
	VIII	512	—	—	—		—		—		—		A	
計		57,540	—	—	—		—		—		—		—	

勝浦市	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.2 337	A	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	III	1-3.1 1-3.2 5,796 1-3.3	D	95	D かんしょ 75	桑 100	—	—	C スギ 100	C	広 110 広 110 竹林	—	—	
	IV	1-1.4 1-4.1 2,908 1-4.2 1-4.3	D	95 90	野菜(自家用)		—		—		C スギ 100 C 広 110		—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-3.5 368 1-4.5	—	—	—	—	—	—	A マツ 60	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	計	9,489	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畠				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量 收 率	普通畠		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 有 利 用 率	土 占 地 有 利 用 率	人工林	天然林	
大多喜町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-2.1 1-2.2	1,475	A 95	はくさい 100 だいこん 100	-	-	-	-	-	広 110	-	-	
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	5,840	D 95	-	-	-	-	C スギ 150	B 広 110	-	-	-	
	IV	1-4.1 1-4.2 1-4.3	5,618	D 90	野菜(自家用)	-	-	-	C スギ 150	C 広 100 竹林 広 100	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-3.5 1-4.5	150	-	-	-	-	-	B マツ 90	C 広 70	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		13,083												
夷隅町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	1,406	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	III	1-3.1 1-3.2 1-3.3	2,581	C 105	D 小麦 90	-	-	-	C スギ 100	C 広 120	-	-	-	
	IV	1-4.1 1-4.2	460	C 100	-	-	-	-	C スギ 100	D 広 120 竹林	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		4,447												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 面 積	地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普 通 畑	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	草 地 有 利 用 率	草 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
御宿町	I	-	-		-	-		-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	184	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	III	1-3.1 1-3.2 2,180 1-3.3	D 100	落花生 80	-	-	-	-	C スギ 100	B 広110	-	-	-
	IV	1-1.4 44	-	-	-	-	-	-	A マツ 50	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	1-3.5 1-4.5	96	-	-	-	-	-	A マツ 60	D 広 60	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		2,504											

大原町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	1913	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	III	1-3.1 1-3.2 4,444 1-3.3	C 105 100	キャベツ 95	-	-	混播110	C スギ 100	C 広110	-	-	-	-
	IV	1-1.4 104	-	-	-	-	-	-	A マツ 50	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	1-3.5 240	-	-	-	-	-	-	A マツ 50	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		6,701											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式		面積	土占 地有 利率	平穫 量 収率	普通畑		樹園地		土占 地有 利率	草お取 地よ穫 のび 利率	人工林	天然林	
	土占 地有 利率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 利率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 利率	主お平量 地よ樹 のび収 利率	主お平量 地よ樹 のび収 利率	土占 地有 利率	主お平量 地よ樹 のび収 利率	土占 地有 利率	主お平量 地よ樹 のび収 利率	土占 地有 利率	主お平量 地よ樹 のび収 利率	
岬 町	I	1-1.1 112	A 110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		1-1.2												
	II	2,021	A 105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		1-2.2												
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 1-3.3	2,364	C 100	—	D	—	—	C マツ 120	C 広150	—			
		梨 90												
	IV	1-1.4	88	A 100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-2.5 1-3.5	100	—	—	—	—	—	A マツ 60	—	—			
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		4,685											

夷隅地域 勝浦市 大多喜町 夷隅町 御宿町 大原町 岬町	I	1-1.1 112	A 105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	開発計画 1.ダム建設計画 (1)場所 夷隅川河口堰, 布施ダム, 荒木 根ダム, 面白ダ ム, 勝浦ダム
	II	1-1.2 1-2.1 7,336	A 100	はくさい 100 だいこん 100	—	—	—	—	—	竹 広 115	—			
		1-2.2												
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 1-3.3	23,205	D 100 95	かんしょ 70 小麦 90	桑 100 梨 95	混播 110	C スギ 110	B 広 120	竹	—			
		1-4.3												
	IV	1-1.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	9,222	D 100 95	野菜(自家用)	—	—	—	B スギ 115	C 広105	竹	—		
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-2.5 1-3.5 1-4.5	954	—	—	—	—	—	A マツ 60	広 65	—			
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII		80										A	
	計		40,909											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 獲 均 量 収 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ り 獲 平 均 量 収 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
木更津市	I	1-1.1 588	A	105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 1-2.1 4,215 1-2.2	A	100	落花生 95	—	—	—	—	マツ 110 D 広 110	—	—	—	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 3,500 1-3.3	D	95	小麥 105	—	—	混播115	—	D スギ 95 C 広 110	—	—	—	
	IV	1-3.4 164		95	—	—	—	—	—	B マツ 105 C 広 110	—	—	—	
	V													
	VI													
	VII													
	VIII	740	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		9,207												

袖ヶ浦町	I	1-1.1 64	A	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 3,358 1-2.2	C	95	C 落花生 95	—	—	—	—	D マツ 85 D 広 120	—	—	—	
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	1-4.2 100	—	—	—	—	—	—	—	—	A 広 120	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	592	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		4,114												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 均 量 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ 穫 種 の び 量 均 率	人 工 林	天 然 林	
			土 占 地 有 利 用 率	主要作物 およ び 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主要樹種 およ び 収穫率	土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ 穫 種 の び 量 均 率	土 占 地 有 利 用 率	主要 平均 樹種 およ び 収 穫 率	土 占 地 有 利 用 率	主要 平均 樹種 およ び 収 穫 率	
平川町	I	1-1.1 252	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1-1.2		落花生 95 だいこん 95									
	II	1-2.1 3,584	B 105	D 落花生 95 落花生 95 だいこん 95	-	-	-	-	D スギ 100	D 広110	-		
		1-2.2											
	III	1-3.1 1-3.2 828 1-3.3	105 100	落花生 95 落花生 95 だいこん 95	-	-	-	-	C スギ 100	C 広110	-		
	IV		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	V		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VI		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VII		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VIII		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
計		4,664											

富来田町	I	1-1.1 182	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 343	A 100	-	-	-	-	-	マツ 110	-	-	-	-
		1-2.2											
	III	1-3.1 1-3.2 3,516 1-3.3	D 100	落花生 90 だいこん 100 落花生 90	-	-	-	-	C スギ 100	C 広100	-		
	IV	1-4.1 104 1-4.2	100	-	-	-	-	-	-	A 広100	-		
	V		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VI		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VII		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
	VIII		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	-
計		4,145											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量 収 率	土 占 主 要 作 物 お よ び 平均 収穫量 率	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 收 穫 量 の び 率	土 占 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	空 そ の 地 他		
君津町	I	1-1.1	1,440	A	105	—	—	—	—	—	—	—	—	備 考
	II	1-1.2 1-2.1 1-2.2	5,761	A	100	かんしょ 85 野菜(自家用)	—	—	—	—	マツ 110	D 広110	—	
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.1 1-3.2 1-3.3	10,453	D	100	野菜(自家用)	桑 130	—	C	スギ 100	C 広100	—	—	
	IV	1-3.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	12,723	D	100 95	野菜(自家用)	—	—	C	スギ 100	B 広100	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-3.5 1-4.5	168	--	—	—	—	—	—	—	A 広 50	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	580	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		—	31,125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

富津町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	備 考
	II	1-1.2	1,386	B	95	C プリンス 100	—	—	—	マツ 80	—	—	—	
	III	1-1.3 1-3.2 1-3.3	404	B	95 90	野菜(自家用)	—	—	D	マツ 75	D 広 110	—	—	
	IV	1-1.4	232	—	—	—	—	—	A	マツ 50	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		—	2,022	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区区分		土地利用の現況												備 考
			水田		畑				草地		林地				
	類 地 よ さ 性 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ り 種 量 の び 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	主 要 よ り 種 量 の び 利 用 率	
大佐和町	I	1-1.1 36	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	広100	-	-	
	II	1-1.2 1,368	A 95	D ブリ ns 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	III	1-3.2 1-3.3 1,735	B 95	野菜(自家用)	D なつかん95	-	-	-	-	マツ 100	D 広110	-	-	-	
	IV	1-1.4 1-3.4 216	-	-	-	-	-	-	-	A マツ 100	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		3,355													

天羽町	I	1-1.1 16	A 90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.1 2,204 1-2.2	A 90	-	-	-	-	-	-	マツ 80	広100	-	-	-	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 2,666 1-3.3	C 90	-	-	-	-	-	-	C スギ 100	D 広110	-	-	-	
	IV	1-1.4 1-3.4 1-4.1 1-4.2 1-4.3	90 85	-	なつかん100	-	-	-	-	D スギ 110	B 広110	-	-	-	
	V	1-5.3 80	-	-	-	-	-	-	-	D スギ 105	A 広 40	-	-	-	
	VI	1-1.5 1-3.5 1-4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A 広 30	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		14,386													

3-4 土地利用可能性分級別市町別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 取 地 よ り 種 平 量 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
君津地域 木更津市 袖ヶ浦町 平川町 富来田町 君津町 富津町 大佐和町 天羽町	I	1-1.1 2578	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	開発計画 1.ダム建設計画 (1)場所 亀山ダム、郡ダメ、戸面山ダム、小糸川、小櫃川、河口湖 2.県民の森建設計画 (1)場所 君津町 (2)面積 3,200ha
		1-1.2			落花生 90									
	II	1-2.1 22219	A 100	D	小麦 100				-		マツ 95	広110	-	
		1-2.2			だいこん 95	-								
		1-1.3			プリンス 100									
	III	1-2.3 23102		100	小麦 100						C スギ 100	B 広105		
		1-3.1			野菜(自家用)		桑 130			混播115				
		1-3.2			なつかん 95						C スギ 105	B 広105		
	IV	1-3.3 22663	D 95		野菜(自家用)		なつかん130		-					
	V	1-5.3 80	-		-		-		-		-	A 広40	-	
	VI	1-1.5 464	-		-		-		-		-	A 広45	-	
	VII	1-3.5 1,912	-		-		-		-		-	-	-	
	VIII												A	
	計	73,018												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ り 種 の び 量 率	人 工 林	天 然 林	
			土 地 有 利 用 率	平均収穫量率	主 要 作 物 よ び	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 木 よ び 収 用 率	土 地 有 利 用 率	主 要 平 量 均 率	土 地 有 利 用 率	主 要 穫 量 均 率	土 地 有 利 用 率	
茂原市	I	1-1.1 140	C 105	C 野菜(自家用)	—	—	—	C マツ 75	—	—	—	—	
	II	1-1.2 3,316	C 100	落花生 100 ねぎ 100	—	—	—	D マツ 75	—	—	—	—	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 1-3.3 2,460	D 100	落花生 100 小麦 100	—	—	—	B マツ 75	D 広 70	—	—	—	
	IV	1-1.4 232	D 100	—	—	—	—	A マツ 75	D 広 70	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-3.5 140	—	—	—	—	—	A マツ 75	D 広 70	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	252	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		6,540											

一宮町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 869	A 100	D トマト 100	—	—	—	—	—	—	—	—	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 1,027	C 100	—	梨 105	—	—	C マツ 85	D 広 90	—	—	—	
	IV	1-1.4 441	—	—	—	—	—	A マツ 60	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-3.5 28	—	—	D 梨 105	—	—	C マツ 85	C 広 90	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		2,365											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 穫 率	地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	
睦沢村	I	1-1.1 512	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 748	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	III	1-3.1 1-3.2 2,284 1-3.3	100	野菜(自家用)	-	-	-	-	B マツ 110	D 広 70	-	-	-	
	IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		3,544												

長生村	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1,862	C 95	C 落花生 95	-	-	-	D マツ 70	-	-	-	-	-	
	III	1-1.3 444	A 95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 368	-	-	-	-	-	-	A マツ 50	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-1.5 204	-	B 野菜(自家用)	-	-	-	O マツ 70	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		2,878												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平均 収 穫 量 率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 木 お よ び 収 穫 率	土 占 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
白子町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 972	C 95	B 落花生 100 たまねぎ 110	—	—	—	—	—	—	—	—	
	III	1-1.3 1,327	A 95	D たまねぎ 110	—	—	—	—	D マツ 75	—	—	—	
	IV	1-1.4 404	D 90	—	—	—	—	—	A マツ 50	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		2,703											

本納町	I	1-1.1 148	B 105	—	—	—	—	C マツ 100	—	—			
	II	1-1.2 1,295 1-2.2	B 100	D ねぎ 105	—	—	—	C マツ 75	—	—			
	III	1-1.3 1-3.1 1,593 1-3.2	C 100	D 落花生 100 小麦 100	—	—	—	D マツ 100	D 広75	—			
	IV	1-1.4 395	—	—	—	—	—	A マツ 75	—	—			
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-3.5 8	—	—	—	—	—	A マツ 75	—	—			
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		3,439											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 取 率	土 占 地 有 利 用 率	人工林	天然林	土 占 地 有 利 用 率
長柄町	I	1-1.1 406	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1,247	-	C 落花生 95	-	-	-	-	-	C スギ 95	C 広 70	D	-	
	III	1-3.1 1-3.2 2,741 1-3.3	C 100	野菜(自家用) 落花生 95	桑 150	-	-	-	-	C マツ 90	C 広 70	-	-	
	IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-3.5 310	-	-	-	-	-	-	-	A マツ 75	-	-	-	
	VII	--	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		4,704												

長南町	I	1-1.1 918	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 452	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	III	1-3.2 4,894 1-3.3	D 100	D 野菜(自家用)	-	-	混播 110	-	-	C マツ 110	C 広 70	-	-	
	IV	--	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	--	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	1-3.5 290	-	-	-	-	D 混播 90	-	-	C マツ 100	C 広 70	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		6,554												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考	
			水田		畑				草地		林地					
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ り 収 穫 量 の び 率	人工林		天然林			
					土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び 平均収穫量率			土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び 平均収 穫 量 率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び 平均収 穫 量 率		
長生地域 茂原市 一宮町 睦沢町 長生村 白子町 本納町 長柄町 長南町	I	1-1.1 2124	A	105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 10761	C	100	C	落花生 95 トマト 100 ねぎ 100 たまねぎ 100	—	—	D	マツ 75	広 70	—	—	—	—	
	III	1-1.3 1-3.1 1-3.2 1-3.3 16770	C	100	D	落花生 95 小麦 100	桑 150 梨 105	混播110	C	マツ 90	C 広 73	—	—	—	—	
	IV	1-1.4 1840	D	95	—	—	—	—	—	—	A 広 70	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	1-1.5 1-3.5	—	—	野菜(自家用)	梨 105	—	—	C	マツ 80	B 広 85	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	252	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		32,727														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 地 有 利 用 率	草 地 よ り の び し く 率	土 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 地 有 利 用 率
東金市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 6,162	B 110	D ねぎ 100	植木(マキ) -	-	-	-	D スギ 125	-	-	-	-	-
	III	1-1.3 1-2.3 1,180	A 110	やまといも 落花生 100 100	野菜(自家用) 桑 155	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4 1,552	A 110	-	-	-	-	-	-	スギ 125	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		8,998												

大網白里町	I	1-1.1 80	A 110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 2,347	B 105	D さといも 100	-	-	-	D マツ 120	-	-	-	-	-	-
	III	1-1.3 1-3.1 2,649	A 105	D 野菜(自家用) 桑 180	-	-	-	D スギ 100	広 75	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4 764	B 105	-	-	-	-	C マツ 50	-	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		5,840												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況											備 考
			水田		畑				草地		林地			
	類お合示 地よき性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利率	平 穫 量 収 率	普 通 畑	樹 園 地	土占 地有 利率	主 要 作 物 よ び お よ び 平均 取 穫 量 率	土占 地有 利率	主 要 樹 木 よ び 取 穫 量 率	人 工 林	天 然 林	空その他	
九十九里町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 1,137	C 100	A	落花生 100	—	—	—	—	C マツ 120	—	—	—	—
	III	1-1.3 912	A 100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV	1-1.4 232	—	B	落花生 100	—	—	—	—	C マツ 50	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		2,281												

成東町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 3,054	C 105	O	ねぎ 105	—	—	—	D マツ 120	—	—	—	—	—
		1-2.2		O	馬鈴薯 100									
	III	1-1.3 1,044	A 105	—	—	—	—	—	D スギ 100	—	—	—	—	—
	IV	1-1.4 456	A 105	—	—	—	—	—	D マツ 50	—	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		4,554												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考
			水田		畑				草地		林地		
	類別示 地よき性 区びれ 分包る式	面積	土占 地有 利利用率	平穫 收率	普通畑	樹園地	土占 地有 利利用率	草お取 地よ穫 利利用率	土占 地有 利利用率	人工林	天然林	土占 地有 利利用率	
蓮沼村	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 108	-	A	落花生 95 -	-	-	-	-	-	-	-	
	III	1-1.3 619	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 188	-	-	-	-	-	-	A マツ 50 -	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		915											

松尾町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 2,351	B 110	D	落花生 100 -	-	-	-	D スギ 100 -	-	-	-	
		1-2.2			さといも 100								
	III	1-1.3 1,072	C 110		やまといも 100 -		-	-	C スギ 100 -	-	-	-	
	IV	1-1.4 332	A 110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		3,755											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考
			水田		畑				草地		林地				
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 獲 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 收 地 よ り 獲 收 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 平 量 均 率	
山武町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 5,099	C 100	1-2.2	C さといも すいか ピール麦	95 100 100	—	—	—	—	C スギ	125	—	—	
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		5,099													

横芝町	I	1-1.1 64	—	—	—	—	—	—	A マツ	120	—	—			
	II	1-1.2 2,111	A 110	1-2.1	D 落花生 食・とう	100 100	—	—	D スギ	100	—	—			
	III	1-1.3 884	C 110	1-2.3	D 食・とう	100	—	—	C スギ	100	—	—			
	IV	1-1.4 274	B 110	—	—	—	—	—	D マツ	50	—	—			
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		3,333													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況											備 考
			水田		畑			草地		林地			空その他	
	類 お 合 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地	土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 取 率	人工林		天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
			土 地 有 利 用 率	均 量	主 要 作 物 よ び お 平 均 收 穫 量 率	主 要 地 利 用 率	主 要 樹 種 均 量	主 要 地 利 用 率	主 要 樹 種 收 穫 率	主 要 樹 種 利 用 率	主 要 樹 種 利 用 率	土 地 有 利 用 率	土 地 有 利 用 率	
芝山町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 4221 1-2.2	C 100	C	さといも 105 すいか 100 にんじん 100	-	-	-	-	D	スギ 110	-	-	-
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4 84	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
計		4377												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備考
			水田		畑				草地		林地				
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 利 用 率	平 穫 率	普通畑		樹園地		土 占 地 利 用 率	草 お 收 地 よ り 穫 率	人工林		天然林		土 占 地 利 用 率
山武地域 東金市 大網白里町 九十九里町 成東町 蓮沼町 松尾町 山武町 横芝町 芝山町	I	1-1.1 144	B 110	-	-	-	-	C マツ 120 -	-	開発計画	1.人工草地(牧草)造成計画 (1)該当市町村 芝山町, 成田市 (2)面積 600ha 2.畑地かんがい(成田用水)計画 (概要は印旛地域に記載)				
	II	1-1.2 1-2 126590 1-22	B 105	ビール麦 100 すいか 100 さといも 105 落花生 95 植木	-	-	D スギ 110 -	-							
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.1 8,360 1-3.2 1-3.3	B 105	野菜(自家用)	桑 170	-	C スギ 100 広 75	-							
	IV	1-1.4 3,882	A 105	-	-	-	D マツ 50 -	-							
	V	-	-	-	-	-	-	-	-						
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-						
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-						
	VIII	176	-	-	-	-	-	-	-	A					
計		39,152													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 地 利 用 率	平 穫 量	收 率	普 通 畑	樹 園 地	土 地 利 用 率	草 地 利 用 率	土 地 利 用 率	人 工 林	天 然 林	
市川市	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 3088	A 1-2.2	85	D だいこん ね き 105	D 梨 105	—	—	マツ90	—	—	—	—
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV	1-1.4 300	A 1-2.2	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	1988	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
計		5,376											

船橋市	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 4,216	D 1-2.2	85	B ほうれんそう にんじん キャベツ 120 110 105	梨 118	—	—	D マツ80	—	—	—	—
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV	1-1.4 1,768	A 1-2.2	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	2,194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
計		8,178											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 利 用 率	草 お 收 率	人 工 林	天 然 林	土 占 利 用 率	
松戸市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 3,376	C 1-2.2	85	B ね ぎ だいこん	110 110	-	-	-	-	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 660	A	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	2,084	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		6,120												

野田市	I	1-1.1 156	A	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.1 1-2.2 6,553	C	85	B 陸 稻 はうれんそう だいこん	95 105 95	-	-	D マツ	80	-	-	D	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 20	A	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	656	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		7,385												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分 お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	土地利用の現況												備考	
		水田		畑				草地		林地					
				普通畑		樹園地				人工林		天然林			
		土占 地有 利率	平 均 収 率	土占 地有 利率	主要作物 およ び 平均収穫量率	土占 地有 利率	主お平量 よ び 樹種 収 穫 率	土占 地有 利率	草 地よ び 種類 均率	土占 地有 利率	主要 樹種 よ び 収 穫 率	土占 地有 利率	主要 樹種 よ び 収 穫 率		
柏 市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	II 1-1.2 1-2.2	4821	C 90	B	はうれんそう 110 ね ぎ 100 - ら 100	-	-	-	D マツ 80 -	-	-	-	-		
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	IV 1-1.4	1540	A 85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VIII	940	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A		
計		7301													

流山市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	II 1-1.2 1-2.2	2574	C 85	B	はうれんそう 105 ね ぎ 100 -	-	-	-	D マツ 80 -	-	-	-	-		
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	IV 1-1.4	864	A 85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	VIII	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A		
計		3530													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ り 穫 量	人 工 林	天 然 林	
			土 地 有 利 用 率	平均 収穫量 率	主要作物 び およ び 平均収穫量 率	土 地 有 利 用 率	主要 平均 樹 よ り 収 穫 量 率	利 用 率	地 よ り 穫 量 率	類 均 率	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 よ り 収 穫 量 率	土 地 有 利 用 率
我孫子市	I	1-1.1	112	A	95	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 1-2.2	3771	C	90	小麥 ねぎ	110 95	—	—	—	—	—	—
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV	1-1.4	156	A	90	—	—	—	—	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	368	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
計		4407											

浦安町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2	332	A	70	—	—	—	—	—	—	—	—
	III	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	345	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
計		677											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考					
			水田		畑				草地		林地		空その他					
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式		面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 収 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 收 穫 率	主 要 作 物 の よ び 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 の よ び 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	
													土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 の よ び 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	
鎌ヶ谷町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-12 1-2.2	1,469	-	A	ね ぎ だいこん	100 110	梨	120	-	D	マツ	80	-	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	492	A	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		2,053																

関宿町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	2,668	D	90	A	陸 だいこん いんげん	稻 90 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	324	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		2,992																

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ り の び し く う り 率	人工林		天然林	
					土 占 地 有 利 用 率	主要作物 お よ び	土 占 地 有 利 用 率	主要樹種 よ り の び し く う り 率			土 占 地 有 利 用 率	主要平均 樹種 よ り の び し く う り 率	土 占 地 有 利 用 率	主要樹種 よ り の び し く う り 率
沼南町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-22	3216	D 95	A だいこん 105	ね ぎ 100	-	-	-	D マツ 80	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	608	B 90	-	-	-	-	-	C マツ 80	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	424	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
計		4248												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 獲 取 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ り 獲 取 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
東葛飾地域	I	1-1.1	268	A	95	—	—	—	—	—	—	—	—	開発計画
		1-1.2				陸 ね だい B	稻 き こん うれん その他	95 105 105 110 100 105	桑 115	—	マツ	80	—	1.千葉ニュータウン 建設計画 (1)該当市町村 船橋市 その他「印旛地域」に記載
	II	1-2.1	36,084	C	90	—	—	—	—	—	—	—	—	
		1-2.2				—	—	—	—	—	—	—	—	
	III			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	1-1.4	6,408	A	85	—	—	—	—	—	マツ	80	—	
	V			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII		9,507	—		—	—	—	—	—	—	—	—	A
	計		52,267											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考	
			水田		畑				草地		林地					
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利 用率	平穫 收率	普通畑		樹園地		土占 地有 利 用率	草お収 地よ穫 のび量 利 用率	土占 地有 利 用率	主お平量 地有 利 用率	土占 地有 利 用率	主お平量 地有 利 用率	土占 地有 利 用率	主よ穫 地有 利 用率
成田市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	9,714	B 95	ピール麦 100 C 落花生 95 さといも 100				-	-	C マツ 85	-	-	-	-	-
	III	1-1.3 1-2.3	1,156	C 95	ピール麦 100 D 落花生 95 さといも 100				-	-	C マツ 85	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4	828	A 90	-				-	-	マツ 85				-	-
	V	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	1,352	-	-				-	-	-	-	-	-	-	A
計		13,050														

佐倉市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	7,594	C 95	落花生 95 さといも 105				-	-	D マツ 120	-	-	-	-	-
	III	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4	2,164	A 95	-				-	-	マツ 120				-	-
	V	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	480	-	-				-	-	-	-	-	-	-	A
計		10,238														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考
			水田		畑				草地		林地				
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 獲 利 用 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 地 よ り 獲 利 用 率	人工林		天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
			土 地 利 用 率	平 獲 利 用 率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均取穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 平 均 取 穫 量 率	土 地 利 用 率	草 地 よ り 獲 利 用 率	主 要 樹 種 よ び 獲 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 地 利 用 率	空 そ の 地 他
四街道町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-12 1-2.2	2,822	C 95	A	小麥 100 落花生 95 さといも 100	-	-	-	-	D マツ 120	-	-	-	-
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4	784	A 90	-	-	-	-	-	-	D マツ 120	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		3,606													

酒々井町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	1,511	C 90	O	落花生 90	-	-	-	D マツ 85	-	-	-	-	-
	III	1-1.3	76	A 90	-	-	-	-	-	-	マツ 85	-	-	-	-
	IV	1-1.4	336	A 85	-	-	-	-	-	-	マツ 85	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		1,923													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考		
			水田		畑				草地		林地						
	類 地 よ さ 性 区 分 包 る 式	面 積	土 地 有 利 用 率	平 穫 量	土 地 有 利 用 率	主 要 作 物 び	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 木 び	土 地 有 利 用 率	草 地 お 取 穫 量	地 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 木 び	土 地 有 利 用 率	
八街町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	7,081	D 90	C	ビール麦 落花生 陸稻 すいか さとうき ぼうとうか うが	100 95 90 105 105 105 100	-	-	-	-	C マツ	80	-	-	-	
	III	1-3.2	48	-	A	ビール麦 落花生 陸稻 すいか さとうき ぼうとうか うが	100 95 90 105 105 105 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	420	A 90	-	-	-	-	-	-	-	スギ	120	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		7,549														

富里村	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	4,736	D 90	A	ビール麦 落花生 さといも はくさい すいか	100 95 105 105 105	-	-	-	-	D マツ	80	-	-	-
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4	618	A 90	-	-	-	-	-	-	-	スギ	95	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		5,354													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考	
			水田		畑				草地		林地			
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利率	平穫 均量 収率	普通畑		樹園地		土占 地有 利率	草お收 地よ穫 のび量 利用率	人工林	天然林	土占 地有 利率	
印旛村	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 3,566	B	95	小麦 115 C 落花生 95 さといも 105				-	C マツ 120	-	-	-	
	III	1-1.3 280	A	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 172	A	90	-	-	-	-	D マツ 120	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		4,658												

白井町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 2,739	-	B	落花生 95 さといも 80	梨 120		-	C マツ 120	-	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4 736	A	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		3,519												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式		面積	土占 地有 用率	平穫 り取率	普通畑		樹園地		土占 地有 用率	草お収 地よ穫 り取率	人工林	天然林	
	土占 地有 用率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 用率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 用率	土占 地有 用率	草お収 地よ穫 り取率	土占 地有 用率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 用率	主要作物 および 平均収穫量率	土占 地有 用率	空その他	
印西町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	4,715	C 100	B 落花生 95 さといも 100	-	-	-	D マツ 80	-	-	-	-	
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	484	A 95	-	-	-	-	-	マツ 80	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		5,303												

本塙村	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	1,819	B 100	D 小麦 120 さといも 100	-	-	-	C マツ 120	-	-	-	-	
	III	1-1.3	48	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	352	A 100	-	-	-	-	-	D マツ 120	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		2,283												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況											備 考
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	土 占 主 要 作 物 お よ び 平 均 收 穫 量	土 占 主 要 樹 木 よ り 收 穫 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	草 地 よ り 収 穫 率	地 有 利 用 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	土 占 主 要 樹 木 よ り 收 穫 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	空その他	
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	土 占 主 要 作 物 お よ び 平 均 收 穫 量	土 占 主 要 樹 木 よ り 收 穫 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	草 地 よ り 収 穫 率	地 有 利 用 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	土 占 主 要 樹 木 よ り 收 穫 率	土 占 主 要 平 均 收 穫 率	空その他	
某 町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	2365	A 100	-	-	-	-	-	C マツ100	-	-	-	
	III	1-2.3	216	100	-	-	-	-	-	A マツ100	-	-	-	
	IV	1-1.4	420	A 95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	436	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		3437												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考	
			水田		畑				草地		林地			
	類別示 地よさ性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利利用率	平穫 收率	普通畑	樹園地	土占 地有 利利用率	主要作物 およ くよ 平均取穫量率	土占 地有 利利用率	主要作物 およ くよ 平均取穫量率	人工林	天然林	土占 地有 利利用率	
印旛地域 成田市 佐倉市 四街道町 酒々井町 八街町 富里村 印旛白井印旛西町 本塙	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	開発計画
	II	1-1.2 1-2.2	48,662	C 95	B	落花生 95 ピール麦 100 すいか 105 さといも 105 はくさい 100 しょウが 100	—	—	—	マツ 100	—	—	—	1. 成田ニュータウン 建設計画 (1) 該当市町村 成田市 (2) 面積 約487ha 2. 千葉ニュータウン 建設計画 (1) 該当市町村 白井町、印旛村、本塙村 および東葛飾地域の船橋市 (2) 面積 約2,913ha 3. 農地造成計画 (1) 該当市町村 栄町 (2) 面積 197ha (畑・樹園地) 4. 人工草地(牧草) 造成計画 (概要是山武地域 に記載) 5. 畑地かんがい(成 田用水)計画 (1) 水源 利根川 (2) 該当市町村 成田市、芝山町、 多古町、下総町 (3) 受益面積 3,188ha (畑・田)
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2	1,824	B 90	—	—	—	—	—	—	マツ 90	—	—	
	IV	1-1.4	7,314	A 90	—	—	—	—	—	—	マツ 100	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	3,120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		60,920		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 地 有 利 用 率	平 穫 量 収 率	普通畑		樹園地		土 地 有 利 用 率	草 地 よ り 穫 量 収 率	人 工 林	天 然 林	
佐原市	I	1-1.1	72	-	-	-	-	-	-	A マツ 110	-	-	
	II	1-1.2	7,436	B 110	D ピール麦 105 さといも 95 かんしょ 95 落花生 105	梨 95	-	-	D マツ 110	-	-	-	
	III	1-1.3 1-2.3	3340	A 110	野菜(自家用)	-	-	-	D マツ 110	-	-	-	
	IV	1-1.4	176	A 110	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	1,024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		12048											

下総町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	2,552	B 105	D 落花生 100	-	-	-	C マツ 110	-	-	-	
	III	1-1.3 1-2.3	432	C 105	D 落花生 100	-	-	-	C マツ 110	-	-	-	
	IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	224	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		3,178											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 地 よ さ 性 区 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地	土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 收 穫 率	地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	
神崎町	I	-	-		-	-		-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	1,245	B 105	D	小麦 110 落花生 100	-	-	C マツ 100	-	-	-	-	
	III	1-1.3 1-2.3	540	C 105		小麦 110 落花生 100	-	-	A マツ 100	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	8	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		1,949												

大栄町	I	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II	1-1.2 1-2.2	4,610	D 100	B	ピール麦 95 落花生 95 だいこん 110 さといも 90 かんしょ 90	-	-	D マツ 110	-	-	-	-	
	III	1-2.3	144	-	-	-	-	-	A マツ 110	-	-	-	-	
	IV	1-1.4	192	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	V	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VI	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VII	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	VIII	-	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
計		5,002												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 お 收 穫 量	土 占 地 有 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率
			土 占 地 有 利 用 率	主要作物 および 平均収穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主要平均 樹種収穫率	土 占 地 有 利 用 率	土 占 地 有 利 用 率	種 類 均 率	土 占 地 有 利 用 率	主要平均 樹種収穫率	土 占 地 有 利 用 率	主要平均 樹種収穫率	
小見川町	I	-	-	-	-				-	-				-
	II	1-1.2 3,527	A 115	D	小麦 110 さといも 105 かんしょ 105				-	D マツ 110				-
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2 1-3.3	B 115	D	小麦 110 落花生 100				-	C マツ 110				-
	IV	1-1.4 1-2.4	A 110	-	-				-	-				-
	V	-	-	-	-				-	-				-
	VI	-	-	-	-				-	-				-
	VII	-	-	-	-				-	-				-
	VIII	748	-	-	-				-	-				A
計		6,179												

山田町	I	-	-	-	-				-	-				-	
	II	1-1.2 1-2.2	4,168	C 115	C	ピール麦 110 かんしょ 110				-	C マツ 110				-
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2	536	C 115	C	ピール麦 110 かんしょ 110				-	C マツ 110				-
	IV	1-1.4	472	A 110	-	-				-	-				-
	V	-	-	-	-	-				-	-				-
	VI	-	-	-	-	-				-	-				-
	VII	-	-	-	-	-				-	-				-
	VIII	-	-	-	-	-				-	-				-
計		5,176													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 分 被 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 收 率	人工林		天然林
			土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均收穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均收穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均收穫量率	地 よ り の 種 類 均 等 率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均收穫量率	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 よ び 平均收穫量率
栗源町	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 2,676	C 105	ビール麦 100 さといも 100 落花生 95	桑 150	-	-	-	C スギ 100	-	-	-	-
	III	1-1.3 92	-	ビール麦 100 C さといも 100 落花生 95	-	-	-	-	B スギ 100	-	-	-	-
	IV	1-1.4 128	A 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		2,896											

多古町	I	1-1.1 172	A 115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 6,487	B 110	ビール麦 100 かんしょ 100 さといも 100 やまといも 105	桑 100	-	-	D スギ 120	-	-	-	-	-
	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4 608	A 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		7,267											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備考	
			水田		畑				草地		林地			
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	面積	土占 地有 利利用率	平穫 均量 収率	普通畑		樹園地		土占 地有 利利用率	草お取 地よ穫 均量 頻均率	人工林	天然林	土占 地有 利利用率	
千潟町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 2,568	1-2.2 B	115	C	トマト 100	—	—	D	マツ 80	—	—	—	
	III	1-3.2 696	1-3.3 D	110	C	ピール麦 110 かんしょ 115	—	—	C	マツ 80	—	—	—	
	IV	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		3264												

東庄町	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2 2,444	1-2.3 B	115	C	ピール麦 110 にんじん 100 かんしょ 120	—	—	マツ 100	—	—	—	—	
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2 1-3.3 1,304	1-4.2 C	115	C	ピール麦 110 にんじん 100 かんしょ 120	桑 150	—	C	マツ 100	—	—	—	
	IV	1-1.4 1-4.2 244	1-4.2 C	110	C	ピール麦 110 にんじん 100 かんしょ 120	—	—	C	マツ 100	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	540	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
計		4532												

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考	
			水田		畑				草地		林地			
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 收 率	普 通 畑	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	草 お 収 穫 率	地 よ り 種 類 均 均 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率		
香取地域	I	1-1.1	244	A	110	-	-	-	-	-	-	-	開発計画	
佐原市	II	1-1.2	37,683	C	110	落花生 100 ピール麦 100 かんしょ 105 さといも 95	桑 150 桑 100 桑 95	-	C マツ 105	-	-	-	1.房総導水路建設 計画 (1)水源 利根川 (2)受益地域 九十九里地区、 房総臨海地区、 背後市街地の 都市用水およ び工業用水	
下神崎町	III	1-2.2	8,892	B	110	落花生 100	-	-	C マツ 105	-	-	-	2.畑地 かんがい (北総東部)計画 (1)水源 利根川 (2)該当市町村 佐原市、小見川町、 山田町、大栄町、 栗源町、千潟町、 多古町 (3)受益面積 7,599ha(畑、田)	
大栄町	IV	1-2.3	1,924	A	105	-	-	-	マツ 100	-	-	-	3.畑地 かんがい(成 田用水)計画 (概要は香取地域 に記載)	
小見川町	V	1-3.2	105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.畑地 かんがい(東 総用水)計画 (概要は海匝地域 に記載)	
山田町	VI	1-3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
栗源町	VII	1-4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
多干潟町	VIII	1-4.4	2,748	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
東古湯庄町	計		51,491											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑				草地		林地		
	類 お 含 示 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 利 用 率	平 穫 收 率	普通畑		樹園地		土 占 地 利 用 率	草 お 収 地 よ よ び 率	人 工 林	天 然 林	
			土 地 利 用 率	平均 收穫 率	主 要 作 物 よ び 率	土 占 地 利 用 率	主 要 均 收 穫 率	種 類 率	草 地 利 用 率	種 類 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 率	土 占 地 利 用 率
銚子市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2 1-2.2	1,920	D 105	A	落花生 90 キャベツ 100	-	-	-	マツ 100	-	-	-
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2 1-3.3	3,066	B 105	D	キャベツ 100	-	-	-	D マツ 100	-	-	-
	IV	1-1.4 1-2.4 1-4.2	672	A 100	-	-	-	-	-	マツ 100	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	2816	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
計		8,474											

旭 市	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	II	1-1.2	3,391	D 110	A	ピール麦 110 落花生 110 かんしょ 115 トマト 100	-	-	-	D マツ 80	-	-	-
	III	1-1.3	1,150	A 110	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	IV	1-1.4	384	-	D	野菜(自家用)	-	-	-	A マツ 50	-	-	-
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VIII	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
計		5045											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考			
			水田		畑				草地		林地					
	類 お含 示 地よさ 性 区びれ 分包る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	土 占 地 有 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平均 収穫 量 率	樹 園 地	土 占 地 有 利 用 率	草 地 お 收 地 よ り の び 種 量 利 用 率	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率				
八日市場市	I	1-1.1	124	A	110	— — — —				— — — —		— — — —				
	II	1-1.2	4,308	C	110	植木(マキ) 落花生 100 だいこん 100 トマト 100				— D タギ 100 —		— — — —				
	III	1-1.3 1-2.3	2,652	A	110	C 野菜(自家用) —				— C タギ 110 —		— — — —				
	IV	1-1.4	860	A	110	D 野菜(自家用) —				— D マツ 70 —		— — — —				
	V	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —				
	VI	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —				
	VII	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —				
	VIII	—	84	—	—	— — — —				— — — —		— A				
計		8,028														

海上町	I	—	—	— — — —				— — — —		— — — —		— — — —					
	II	1-1.2	1,670	A	115	かんしょ 120 D 陸 稲 100 桑 150 ビール麦 110				— マツ 110 —		— — — —					
	III	1-1.3 1-3.2 1-3.3	808	A	110	— — — —				D マツ 110 —		— — — —					
	IV	1-1.4 1-3.4 1-4.3	110 472 105	A	—	— — — —				— マツ 110 —		— — — —					
	V	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —					
	VI	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —					
	VII	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —					
	VIII	—	—	—	—	— — — —				— — — —		— — — —					
計		2,950															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考			
			水田		畠						草地		林地					
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 率	平 獲 率	普通畠			樹園地			土 占 率	草 地 よ り 量	草 地 お 収 率	人 工 林	天 然 林	空 そ の 他		
飯岡町	I	—	—	—	—						—	—	—	—	—			
	II	I-1.2 264	C 110	B 花野菜 100 バセリ 100	—						D マツ 80	—	—	—	—			
	III	1-1.3 1-3.2 1,145 1-3.3	B 110	D キャベツ 100 バセリ 100	—						D マツ 80	—	—	—	—			
	IV	1-1.4 1-3.4 476 1-4.3	110 105	B バセリ 100	—						C マツ 50	—	—	—	—			
	V	—	—	—	—						—	—	—	—	—			
	VI	—	—	—	—						—	—	—	—	—			
	VII	—	—	—	—						—	—	—	—	—			
	VIII	—	—	—	—						—	—	—	—	—			
計		1,885																

光町	I	1-1.1 376	A 110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	II	1-1.2 440	A 105	C 落花生 100 食・とう 105 馬鈴薯 100	—	—	—	—	—	—	C マツ 80	—	—	—	—
	III	1-1.3 1,964	A 105	食・とう 105	—	—	—	—	—	—	D マツ 80	—	—	—	—
	IV	1-1.4 560	A 105	—	—	—	—	—	—	—	C マツ 50	—	—	—	—
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		3,340													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況										備 考
			水田		畑			草地		林地			
	類お含示 地よさ性 区びれ 分包る式	面 積	土占 地有 利 用率	平 穫 率 取 率	普通畑	樹園地	土占 地有 利 用率	草お收 地よ び量 のび 種 均 用率	人工林	天然林	土占 地有 利 用率	土占 地有 利 用率	
野栄町	I	1-1.1	148	A 100	—	—	—	—	—	—	—	—	
	II	1-1.2	620	—	A 小麦 105 落花生 105	—	—	—	—	—	—	—	
	III	1-1.3	938	A 100	D 小麦 105 落花生 105	—	—	—	—	—	—	—	
	IV	1-1.4	332	—	B 小麦 105 落花生 105	—	—	B マツ 50	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		2038											

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市 町 村 名	類地区分		土地利用の現況												備 考
			水田		畑				草地		林地				
	類 地 よ さ 性 区 び れ 分 包 る 式	面 積	土 占 地 有 利 用 率	平 穫 量	普通畑		樹園地		土 占 地 有 利 用 率	草 地 よ り の び 量	人 工 林	天 然 林	土 占 地 有 利 用 率	その 他の 利 用 率	
海匝地域 銚子市 旭市 八日市場市 海上町 飯岡町 光野栄町	I	1-1.1	648	A	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	開発計画
	II	1-1.2 1-2.2	12,613	D	105	落花生 100 ビール麦 105 キャベツ 100 トマト 100 かんしょ 115 植木	桑 150	—	—	マツ 90	—	—	—	—	1. 畑地かんがい (東総用水)計画 (1)水源 利根川 (2)該当市町村 銚子市, 飯岡町, 海上町, 東庄町, 千潟町 (3)受益面積 3,218ha (畑)
	III	1-1.3 1-2.3 1-3.2 1-3.3	11,723	B	105	キャベツ 100 西洋野菜 100	—	—	—	D マツ 90	—	—	—	—	
	IV	1-1.4 1-2.4 1-3.4 1-4.2	3,756	B	105 100	バセリ 100	—	—	—	D マツ 70	—	—	—	—	
	V	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VII	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	VIII	3,020	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
計		31,760													

1972年 印刷発行

縮尺20万分の1

土地分類図付属資料

千葉県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 株式会社 産業統計研究社

東京都渋谷区代々木二丁目五番五号